さくいん

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検	長年ご使用のポータブル DVD/CD プレーヤーの点検を！
	こんな症状はありませんか ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある **このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DVD-LX97
販売店名	☎（　　）　－		

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

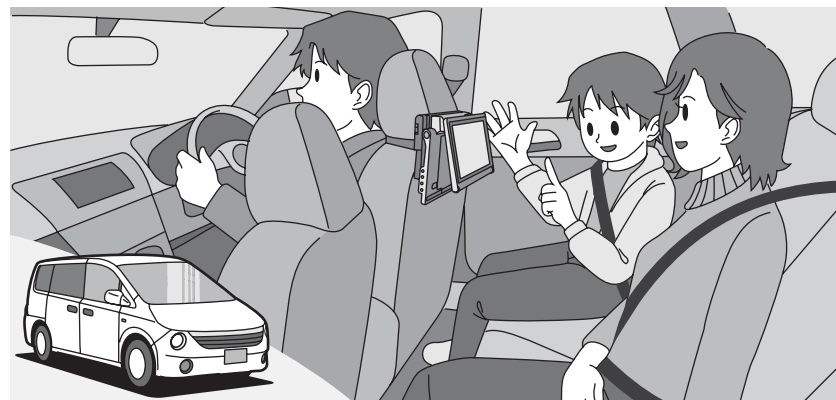
〒571－8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8236-S
F0206BL0

Panasonic®

取扱説明書

ポータブル DVD ／ CD プレーヤー

品 番 DVD-LX97

このたびは､ポータブル DVD ／ CD プレーヤーをお買い上げいただき､まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（☞36 ～ 39 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**

■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は､「お買い上げ日･販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD ビデオのリージョン番号

発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。
本機の番号は「2」です。
「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示された DVD ビデオの再生が可能です。

（例）
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

保証書別添付　上手に使って上手に節電

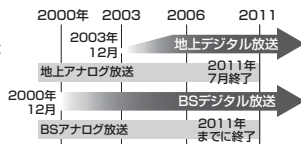
RQT8236-S

もくじ

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

2000年	2003	2006	2011
地上アナログ放送	2003年12月 地上デジタル放送 →		2011年7月終了
2000年12月 BSデジタル放送 →			
BSアナログ放送			2011年までに終了

- 上記内容は JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）の規定に基づくものです。

本機はアナログ放送終了後も、地上デジタル放送 (ワンセグ) でテレビ番組をお楽しみいただけます。

付属品

- 本書に記載の品番は、2006 年 2 月現在のものです。品番は変更されることがあります。
- 買い替えは、サービスルート扱いです。以下の品番で、お買い上げの販売店へご注文ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

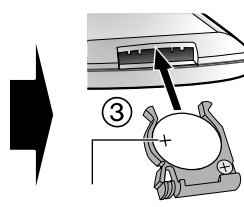
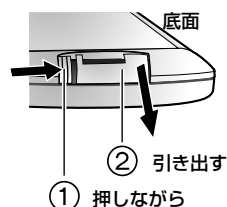
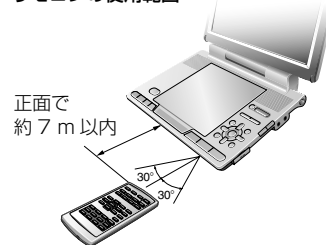
- ☐ **リモコン** ★（N2QAHC000024）
- ☐ **リモコン用ボタン電池** ☆（買い替え時：☞ 下記）
- ☐ **映像・音声コード** ★（K2KA6CB00003）
- ☐ **AC アダプター** ★（RFEA213W)
- ☐ **電源コード** ★（K2CA2DA00009）
- ☐ **カー DC アダプター** ★（RFEC202M-M）
- ☐ **バッテリーパック** ★（VUADBLX97）
- ☐ **アンテナコード** ★（N1EAGD000003）
- ☐ **ヘッドレストブラケット** ★（RXQ1405）
- ☐ **モニターホルダー** ★（RGQ0442-K）

★印および本書内に記載している別売品は、松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。(☆印は「パナセンス」では取り扱っておりません。)

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp/

準備

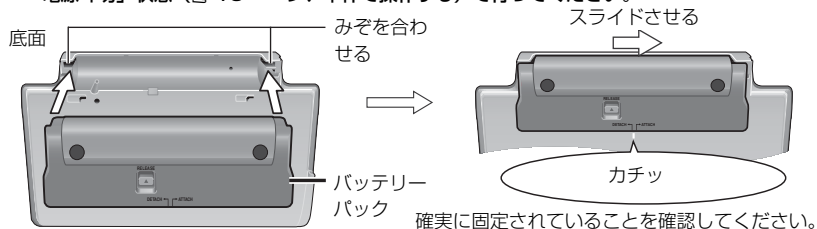
リモコン

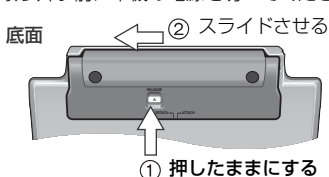
ボタン電池（付属）を入れる

＋マークを上に
リチウム電池：**CR2025**

電池を廃棄する場合は、不燃ゴミとして処理してください。
(または、地方自治体の条例に従ってください。)

電源

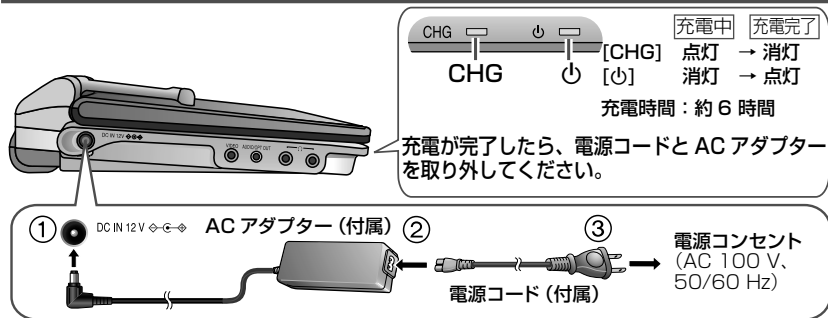
❶ バッテリーパックの取り付け

電源「切」状態（☞16 ページ、本体で操作する）で行ってください。

確実に固定されていることを確認してください。

取り外し

●取り外す前に本機の電源を切ってください。

長期間使用しないときは

● バッテリーパックを取り外してください。（☞ 左記）
（電源「切」状態でも微少電流が流れて過放電になり、故障するおそれがあります。）
● 再使用時は充電してからお使いください。

❷ 充電（電源「切」状態で充電されます）

海外で使うには .....

付属の AC アダプターは、AC100 ～ 240 V、50/60 Hz の電源に使用できます。旅行先のコンセントに合わせた市販の変換プラグをご用意ください。

ご使用にならないときは、電源コードを変換プラグごと AC コンセントから外してください。

●**電源コードとACアダプターだけ、またはカーDCアダプター（付属）だけでも使えます（☞10ページ）。**
●別売バッテリーパック（DY-DBLS55）を使用すると長時間楽しむことができます（☞5 ページ）。

節電のために
電源が切れた状態でも、約 0.3 W の電力を消費しています。
長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

充電時間と再生時間

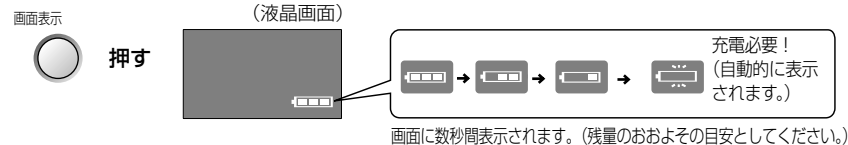
カッコ内は別売バッテリーパック（DY-DBLS55）使用時です。

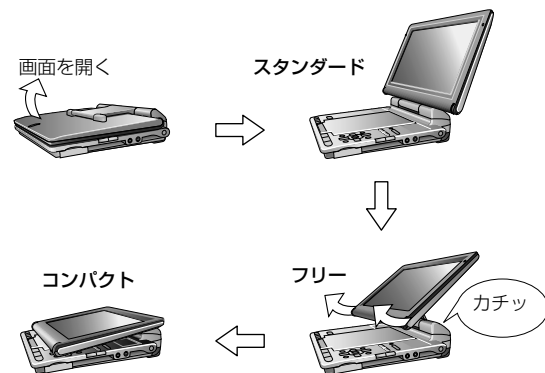
充電時間	使用方法	再生時間（室温・ヘッドホン使用・FM トランスミッター OFF 時）			
		液晶画面の明るさ（BRIGHT）レベル			液晶画面「切」
		－5	0	5（お買い上げ時）	
6（10）	DVD※	6（12）	4（8）	3（6）	10（20）
	SD※	7.5（15）	5（10）	4（8）	13（26）
	TV 受信	9（18）	6（12）	4（8）	20（40）

※ “TV OFF” 時（☞13 ページ）
● 上記の時間は使用条件により異なります。
● 液晶画面の明るさを変えるには（☞20 ページ、液晶画面の画質を調整する）
● 別売バッテリーパック（DY-DBLS55）の使用方法は、本機に付属のバッテリーパック（VUADBLX97）と同じです。

バッテリーパックの残量確認

※バッテリーパック使用時、電源「入」状態（☞16 ページ）

画面に数秒間表示されます。（残量のおおよその目安としてください。）

●GUI 画面(☞29 ページ)が表示された場合、[リターン] を押すと、GUI 画面の表示が消えます。

画面の角度調整

本機を移動させるときは ●画面を閉じてください
●画面を持たないでください

液晶画面について
0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、故障ではありません。

再生できるディスクとカード

再生できるディスク

市販ディスク

ディスク名称 ディスクロゴ	本文中での表示	特徴
DVD ビデオ	DVD-V	映画や音楽など、高画質の市販ソフト
DVD オーディオ※1,2	DVD-A	高音質の音楽用市販ソフト
ビデオ CD	VCD	映像、音楽や音声が記録された市販ソフト ● SVCD（IEC62107 規格準拠）を含む
CD	CD	音楽や音声が記録された市販ソフト

■ 再生できないディスク

- · PAL 方式で記録したディスク (DVD オーディオの音声は再生できます。)
- · DVD-RAM [2.6GB/5.2GB、TYPE1（カートリッジから取り出せないもの）]
- · ファイナライズしていない DVD-R/DVD-RW/DVD-R DL/ +R/+RW/+R DL
- · ブルーレイディスク
- · DVD-ROM・バージョン 1.0 の DVD-RW・CD-ROM
- · CD-G・SACD・DivX ビデオ
- · Photo-CD・CDV・Chaoji VCD（超級と呼ばれる市販の SVCD、CVD、DVCD）など

※1 DVD オーディオの中の DVD ビデオコンテンツを再生するには、"その他のメニュー"で"DVD-Video として再生"を選んでください（☞31 ページ）。
※2 本機では 2 チャンネルで再生されます。ただし、マルチチャンネルの DVD オーディオには、制作者の意図によりダウンミックス（☞41 ページ）が禁止されているものがあります。

記録されたディスク（○:再生可　×:再生不可）

ディスク名称 ディスクロゴ	再生できるファイル形式 DVD レコーダーなどで記録されたディスク DVD-VR※2	DVD-V※3	パソコンなどで記録されたディスク WMA	MP3	JPEG	MPEG4	ファイナライズ※4 必要／不要
DVD-RAM	○	–	×	○	○	○	不要
DVD-R/RW	○	○	×	○	○	○	必要
DVD-R DL	○	○	×	×	×	×	必要
＋R/＋RW	×	(○)	×	×	×	×	必要
＋R DL	×	(○)	×	×	×	×	必要
CD-R/RW※1	–	–	○	○	○	○	必要※5

● 使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作り方により再生できない場合があります（☞28 ページ）
※1 本機は、CD-DA およびビデオ CD フォーマットで記録された CD-R/RW を再生可能です。
WMA MP3 JPEG 本機は、HighMAT ディスクも再生可能です。
※2 DVD レコーダー、DVD ビデオカメラなど VR(ビデオレコーディング) 規格 Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録したディスク
DVD-R DL：DVD レコーダー、DVD ビデオカメラの VR(ビデオレコーディング) 規格 Ver.1.2（ビデオ録画のための統一規格）で記録したディスク
※3 DVD レコーダーまたは DVD ビデオカメラなど、DVD ビデオフォーマットで記録されたディスク
＋R/＋RW、＋R DL：DVD ビデオフォーマットとは記録形式が異なるため、働かない機能があります。
※4 録音・録画したディスクを再生対応機で再生できるように処理すること。
※5 セッションクローズ（再生対応機で再生できるように処理すること）でも再生できるようになります。

再生できるカード

カード名称 カードロゴ	本文中での表示	特徴
SD メモリーカード miniSD™ カード※ SD ロゴは商標です。	SD PICTURE SD VIDEO	● SD PICTURE（静止画）当社製 SD マルチカメラで撮影あるいは当社製 DVD レコーダーで記録した JPEG データ [DCF (Design rule for Camera File system) 規格 Ver.1.0 準拠] ● SD VIDEO（動画）当社製 SD マルチカメラで撮影あるいは当社製 DVD レコーダーで記録した MPEG4 データ［SD VIDEO 準拠（ASF 形式）／映像：MPEG4（Simple Profile）準拠／音声：G.726 準拠］ ● 本機では以下の容量（8 MB ～ 2 GB まで）の SD メモリーカードが使用できます。 8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2GB まで 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/dvd ● パソコンでフォーマットまたは記録した SD メモリーカードは本機では再生できない場合があります。 ● 本機は当社製 SD マルチカメラあるいは DVD レコーダーなどにより SD File System 規格 Ver.1.01 に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットした SD メモリーカードに対応しています。 ● 当社製 SD カードのご使用をおすすめします。 ● マルチメディアカードのご使用については保証いたしません。 ● MOTION JPEG と MPEG2 には対応していません。 ● デジタルスチルカメラの動画機能を使用して撮影した動画ファイルなど、本機では再生できないファイルもあります。 ● 再生時の日付表示が実際に記録した日付と異なる場合があります。 **本機で表示されるフォルダについて** フォルダ・ファイル名はそれぞれグループ名・コンテンツ名として表示されます。(SD VIDEO グループはありません。) 本機では が表示されます。 ＊＊＊：数字　XXX：文字 SD カード DCIM（上層フォルダ） ＊＊＊XXXXX（静止画フォルダ） XXXX＊＊＊＊.JPG SD_VIDEO PRL＊＊＊（動画フォルダ） MOL＊＊＊.ASF

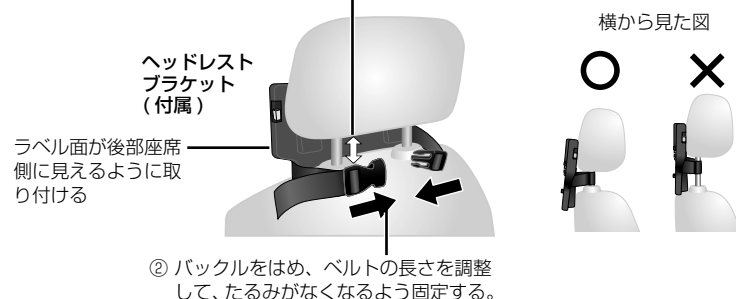
※ miniSD™ カードを本機で使用する場合は、専用の miniSD アダプターに必ず装着してご使用ください。
● 使用するカード、記録状態、記録方法やファイルの作り方により再生できない場合があります。

車の中で楽しむ

後部座席で楽しむには（ヘッドレストブラケット）

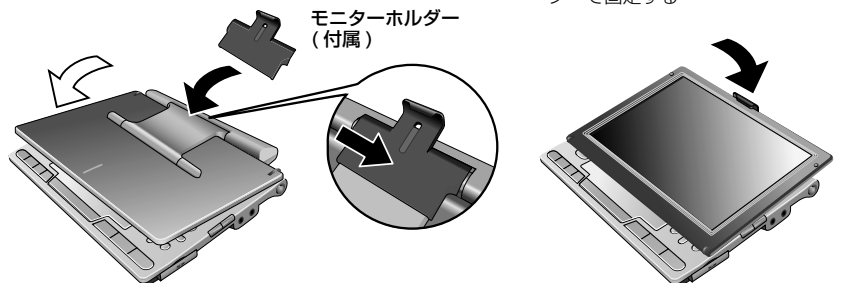
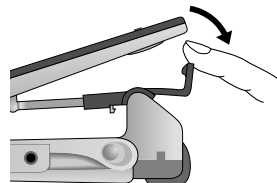
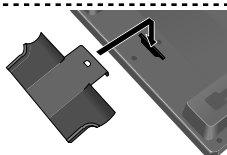
本機を前部座席に取り付け、後部座席で楽しむことができます。
●ディスク・SD カードは、ブラケットへの取り付け前に本機に入れておいてください。

車の走行中は、取り付け作業を行わないようにしてください。

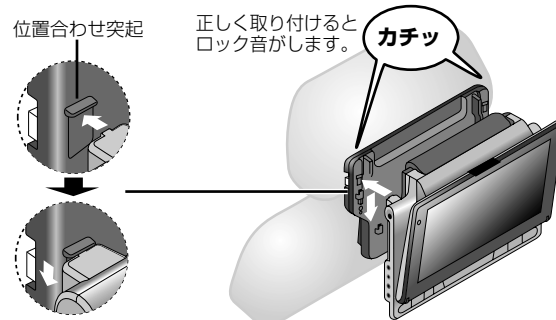
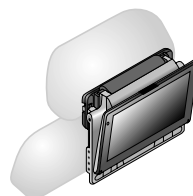
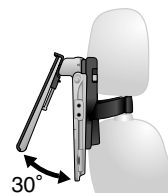
1 前部座席にヘッドレストブラケットを取り付ける

2 モニターホルダーを取り付ける

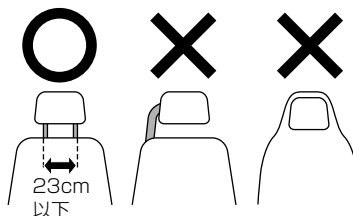
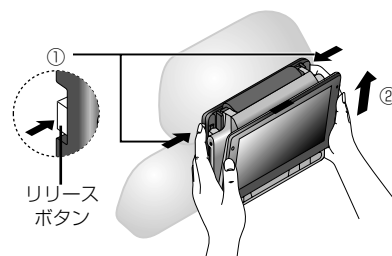
①モニターを前に倒し、モニターホルダーを取り付ける。

②モニターを回転し、モニターホルダーで固定する

モニターが固定されていることを確認してください。

モニターの取り外し方

モニターホルダーを左図のように押さえると、モニターが外れます。

取り外したモニターホルダーは、ブラケットに上図のように収納することが可能です。

3 本機をヘッドレストブラケットに取り付ける

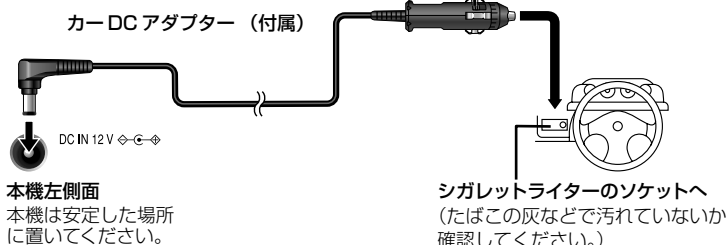
本機を両手で持ち、ブラケットの位置合わせ突起の下側に本機を押し当て、ブラケットの突起を本機底面の穴にはめるように下方向に 4 ～ 5mm 押し下げてください。
●本機が上方向に抜けないことを確認の上、ご使用ください。

取り付け完成図

車の振動による異音や傷つき防止のため、モニターは右図のように開いた状態でご使用ください。
角度は約 30 度まで調整可能です。

●車の走行中の振動等により、角度が変動することがあります。

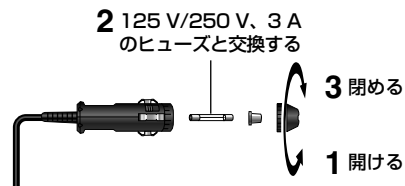
●シートの種類によっては取り付けられない場合があります。

本機のブラケットからの取り外し方

① ブラケットのリリースボタン（左右 2 ヶ所）を内側へ押し込む。
② 本機を上に引き上げる。
●取り外すとき以外は、リリースボタンを押さないようにしてください。

カー DC アダプター (付属) で使う（マイナスアース車専用）

自動車内でお使いになるときは、運転中の方は操作しないでください。
他の人が操作する場合でも、運転中の方の目に入らないようにしてください。

接続するには

- 詳しくは、ご使用の自動車の説明書をお読みになるか、販売店にご相談ください。
- 接続前に本機の電源を切ってください。
- 電圧 12V のシガレットライターソケットへ接続してください。(24V には対応していません。)

ヒューズを交換するには

125 V/250 V、3 A のヒューズと交換してください。

- **カーバッテリーの消耗を避けるために**
  – 使用後はカー DC アダプターをシガレットライターソケットから抜いてください。
  未使用時でも微少の電力を消費しています。バッテリーパック装着の場合、充電を開始して、さらに電力を消費します。
  – エンジン停止時は、カー DC アダプターで長時間使用しないでください。
- カー DC アダプターのコードは引っ張らないでください。
- エンジン停止前に本機の電源を切ってください。電源が入った状態でエンジンを停止した場合、レジューム再生（☞16 ページ）が働かない場合があります。
- 誤った取付けをして発生した損害に対しては当社は一切の責任を負いません。

本機左側面

別売カーステレオカセットアダプター（品番：SH-CDM10A）を本機左側面の [Ω]（ヘッドホン）端子（どちらでも使えます）に接続して、カーステレオで音声を楽しむこともできます。

カーステレオ等で音声を楽しむには (FM トランスミッター)

本機からカーステレオ等の FM ラジオに音声を送信して、ディスク、SD カード、デジタル放送や接続した機器を楽しむことができます。
- FM トランスミッターは、一般の FM 付ラジオ機器にもお使いいただけます。
- **アナログ放送には働きません。**

準備：ヘッドホン、アンテナコード、屋外アンテナや映像・音声コードを本機から抜く
- 接続していると、FM トランスミッターは働きません。

※ただし、本機と他の機器を映像・音声コードで接続、“AUX”選択時には働きます (☞34 ページ)。

1 ディスク、SD カード、接続した機器を再生、またはデジタル放送を視聴する（☞16 ページ、18 ページ、34 ページ、14 ページ）

2

押してメニューを表示させる

メニューが表示されない場合は、上記“準備”を確認してください。

3 [▲▼◀▶] で“ON”を選ぶ

[FM トランスミッター] 横のランプがオレンジ色に点灯します。

- **本機から音は出なくなります。**
  本機の音量は、画面の音量目盛りを以下を目安に設定してください。
  – DVD の映画ソフト等やデジタル放送・・・右端近く
  – その他・・・真中くらい
  ※ 上記はあくまで目安です。ディスク / カードの記録状態や再生する機器の音量によっては、適切な音量が異なる場合があります。手順 5 で音量が不適切な場合は、本機の音量を設定し直してください。

4 ラジオ側の FM 周波数を 83.5 MHz に合わせる

他の FM 放送が聞こえるときは
☞ 下記、“うまくいかないときは”へ

5 ラジオ側で音量を調節する

- FM トランスミッターを「切」にするには、**[FM トランスミッター]** を押して **[▲▼◀▶]** で“OFF”を選ぶ。
- 画面を消すには、**[FM トランスミッター]** を押す。

うまくいかないときは

1 [FM トランスミッター] **押してメニューを表示させる**

2
① **[▲▼]** で周波数を選ぶ (お買い上げ時は“83.5 MHz”と表示)
② **[◀▶]** で、76.3 MHz ～ 89.7 MHz 間で放送局が使用していない周波数（通常ラジオを聞いているときに放送の入らない周波数）を選ぶ（0.1 MHz ずつ）

3 手順 2 で設定した周波数に FM ラジオを合わせる

- 雑音が入るときは、ラジオのアンテナと本機を近づけてください。または、メニュー画面表示中に［▲▼◀▶］で“MONO”を選んでください。改善されないときは、周波数を変更してください（☞ 上記、“うまくいかないときは”）。

テレビ放送を楽しむ

本機でご覧いただけるテレビ放送

●本機では、地上アナログ放送（従来の UHF・VHF）と、地上デジタル放送（ワンセグ）を視聴することができます。それぞれ、下記の特徴がありますので、目的に合わせてお楽しみください。
ケーブルテレビ (CATV) を楽しむ場合、詳しくは CATV 会社にご相談ください。

ワンセグとは

● ワンセグ（地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス）とは、携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、ＵＨＦ電波を使い、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらにデータ放送を楽しめるのが特長です。(本機はデータ放送および緊急警報放送の受信には対応しておりません。)
2006 年 4 月 1 日より、ＮＨＫおよび民放各社から放送が開始される予定です。(お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります。)
● ワンセグについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 地上デジタル放送推進協会 (D-pa)　　http://www.d-pa.org/

	アナログ放送	デジタル放送 (ワンセグ)
移動中の視聴	移動中は映像が乱れたり、電波を受信できないことがあります。	アナログ放送より安定して電波を受信することができます。
便利な使い方	−	視聴中のチャンネルの番組表や番組情報を見ることができます。
画質について	屋外アンテナを接続するなど、受信状態の良い場所では、良好な画質で視聴することができます。	画面が小さい携帯端末用の放送サービスのため、画質が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでなかったりすることがあります。
受信できる地域	お住まいの地域での放送を受信することができます。	放送開始当初は、受信できる地域が限定されます。

アナログ放送：
● 屋外アンテナを接続できる場所や
● ワンセグ放送が受信できない地域での受信をおすすめします

デジタル放送：
● 電車や車などでの移動中や
● ワンセグ放送を受信できる地域にお住まいの場合におすすめします

テレビ放送をご覧になるために

アナログ放送

アンテナコードを接続する

本機右側面

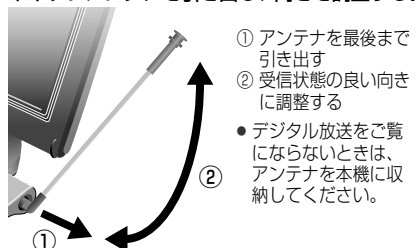
受信状態の良い場所にはさんでください。

アンテナコード（付属）

デジタル放送

ホイップアンテナを引き出し、向きを調整する。

① アンテナを最後まで引き出す
② 受信状態の良い向きに調整する
● デジタル放送をご覧にならないときは、アンテナを本機に収納してください。

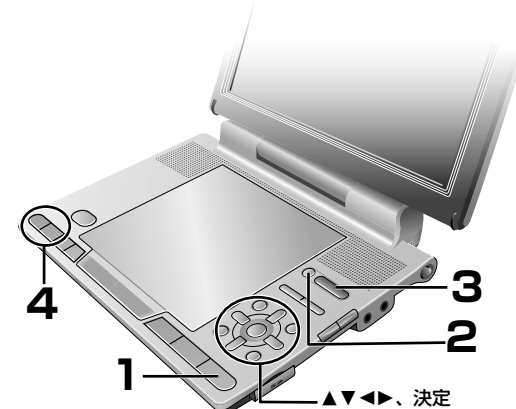
● 画面がきれいにうつらないときは、屋外アンテナと接続することをおすすめします (☞35 ページ)。

チャンネルを設定する

この操作は、アンテナ準備後 (☞12 ページ) 行ってください。

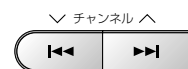
1 電源が入るまで押したままにする

2 AV セレクト 数回押して TV モードに切り換える

3 TV モード デジタル / アナログ / 切

押して選ぶ
デジタル放送 → “DTV”
アナログ放送 → “TV”
TV 受信切 → “TV OFF”

4 チャンネルを検索・設定する

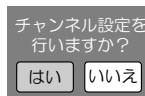
使用場所で受信できるチャンネルを自動的に検索・設定します。

アナログ放送

∨ チャンネル ∧

画面が切り換わるまで押したままにする
● チャンネルの設定終了後、設定したチャンネル番号の一覧を数秒間表示した後、最初のチャンネルを表示します。

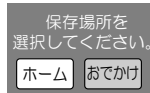
デジタル放送

チャンネルの設定場所として「ホーム」「おでかけ」の 2 種類のチャンネルリストがあります (それぞれ 18 チャンネルまで設定可能)。例えば、自宅周辺で受信したチャンネルを「ホーム」に、外出先で受信したチャンネルを「おでかけ」に設定するなど、使い分けると便利です。

①チャンネル設定画面を表示する
●ご購入時：最初に”DTV” を選んだとき自動的に表示されます。
●チャンネルを設定しなおすとき：画面が表示されるまで [∧∨] を押す（または GUI 画面で「チャンネル設定」を選ぶ ☞31 ページ）

②[◀▶] で“はい”を選び、[決定] を押す
自動的にチャンネルの検索を行います。
● 検索にかかる時間は地域や受信状況によって異なります。

③検索したチャンネルの一覧を確認し、[決定] を押す

④ [◀▶] で保存先のチャンネルリストを選び、[決定] を押す

保存場所を
選択してください。
ホーム　おでかけ

● **チャンネルを追加するには**
TV 放送を受信中、画面が切り換わるまで [▲▼] を押したままにすると、最初に受信したチャンネルを選局して止まります (設定済のチャンネルも受信します)。この操作をくり返し、追加したいチャンネルで [決定] を押す。

● **チャンネルを削除するには**
TV 放送を受信中、削除したいチャンネルを [∧∨] で選び (☞14 ページ)、リモコンの [取消し] を押す。

● 設定を行った場所で再度使う場合、チャンネルの設定手順は不要です。電源を切っても、設定したチャンネルは消去されません。
●電波状況によっては、チャンネルを設定できなかったり、受信状態が悪くても設定する場合があります。
● TV をご覧にならない場合は、「TV OFF」に切り換えてください。「TV」および「DTV」を選択したままの状態からディスクやＳＤカード再生に切り換えると、余分な電力を消費します。

番組を視聴する

準備：チャンネルを設定後、13ページ1～3の手順で、テレビ画面を表示する。

チャンネルを切り換える

∨ チャンネル ∧

押す

地上デジタル放送では、画面上部に以下の表示が出ます。

番組情報

5秒後 → 4 地上D641 → 5秒後 → 表示消灯

チャンネル表示

- 選択中のチャンネルリスト（「ホーム」または「おでかけ」）に設定されているチャンネルが切り換わります。
- **チャンネルリストの「ホーム」と「おでかけ」を切り換えるには**（☞31ページ、デジタル放送“チャンネルリスト”）。
- [CH表示]で“入”に設定した場合（☞下記）、チャンネル表示は消灯されません。
- デジタル放送のみ、リモコンの番号入力（☞17ページ）でチャンネルを切り換えることが可能です。
  例）12：[≧10] → [1] → [2]

音量を調節する　VOL　**押して調節する**

- 放送のない地域では、受信できません。
- 周囲の環境、本体を置く場所や向き、電波状況によっては、以下のような現象が生じる場合があります。
  －映像が乱れたり、止まったりする。
  －音声が出なくなる。
  －設定したチャンネルを受信できない。
- 本機でのアナログ放送の視聴について
  －二重音声の切換はできません。
  －音声はモノラルです。
  －アンテナコードを本体の液晶画面に近づけると、画面の映りが悪くなる場合があります。

デジタル放送の便利な機能（デジタル放送視聴中のみ）

チャンネルの情報を表示する

CH表示 / メニュー

押して表示を入／切する

画面右上に表示されます。

チャンネル表示　5秒後

電波状態表示
本数が多いほど、受信状態は良好です。

チャンネルリスト表示
選択中のチャンネルリストによって、表示が変わります。

ホーム　または　おでかけ

チャンネルリストを表示する

CHリスト / トップメニュー

押して表示を入／切する

チャンネルを切り換える場合は、[▲▼]で選択し、[決定]を押す。
- 画面を消すには、[リターン]を押す。

番組表を表示する

番組表 / アングル（リモコン）

押す

視聴中のチャンネルの番組一覧が表示されます。
[▲▼]で選択し、[決定]を押すと、選択した番組の内容（☞下記）が表示されます。
- 画面を消すには、[リターン]を押す。

視聴中の番組内容を表示する

番組内容 / 再生モード（リモコン）

押す

番組内容が表示されます。

- 画面を消すには、[リターン]を押す。

字幕を入／切する

字幕（リモコン）

押して入／切する

字幕　入

- 字幕“入”でも、字幕のない番組では、字幕は表示されません。

音声を切り換える

音声（リモコン）

押して切り換える

音声１

（二重音声放送の場合）
主 → 副 → 主＋副

（複数音声放送の場合）
音声1 → 音声2

（二重音声＋複数音声放送の場合）
音声1 主 → 音声1 副 → 音声1 主＋副 → 音声2 主 → 音声2 副 → 音声2 主＋副

- 切り換えのできる音声がある番組のみ

メッセージ表示一覧（デジタル放送視聴中のみ）

本機では、操作の確認のためや正常な操作が行われなかった場合に、下記のようなメッセージが表示されることがあります。

メッセージ	内容
圏外のため、受信できません。(E202)	受信圏外、あるいは受信状態が悪いため、選んだチャンネルは受信できません。受信できる状態になると、自動的に放送を受信します。
現在、受信できません。(E203)	放送を休止している、あるいは受信するために必要なデータが取得できていないため、選んだチャンネルは受信できません。受信できる状態になると、自動的に放送を受信します。
番組データがありません。	番組に関するデータが未取得のため、番組表や番組内容を表示できません。受信可能なチャンネルであれば、数秒～数分でデータを受信します。
チャンネルが設定されていません。	使用中のチャンネルリストにチャンネルが設定されていません。チャンネル設定を行ってください。（☞13ページ）

ディスクを再生する

1 ふたを開ける

2 ディスクを入れ、ふたを閉める

- DVD-RAM はカートリッジから取り出してください。
- 電源が入った状態でディスクを入れると、再生が始まるものがあります。

3 電源が入るまで押したままにする

再生が始まります。
- “DISC” 以外が表示されたときは、[AV セレクト] で “DISC” を選んでください。

4 音量を調節する

ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

- DVD-VR と他のコンテンツ（JPEG など）が混在する DVD-RAM 内の JPEG や MP3 および MPEG4 を再生するには、“データディスクとして再生” を選んでください（☞31 ページ、その他のメニュー）。
- **停止状態で約 15 分(バッテリーパック使用時は約 5 分)経過すると自動的に電源が切れます(オートパワーオフ)。**
- メニュー画面表示中はディスクが回っています。再生しないときは [■、ー切] で止めてください。
- + R/+ RW では、総タイトル数が正しく表示されないことがあります。
- 困ったときは、「故障かな！？」（☞42 ～ 44 ページ）をご覧ください。

本体で操作する

電源 ▶	電源入・再生	電源「切」時：押したままにすると電源が入り、再生が始まる。 電源「入」時：押すと、再生が始まる。
❚❚	一時停止	[▶、電源 入] で通常再生に戻る。
ー切 ■	停止	“再生ボタンで続きから再生します。” 表示中は、停止位置が記憶されています（電源「切」時を含む）。 ● メッセージ表示中に [▶、電源 入] を押すと、停止位置から再生（**レジューム再生**）。 ● メッセージ表示中に [■、ー切] を押すか、ふたを開けると、停止位置の記憶は解除。
	電源切	押したままにすると “OFF” が表示され、電源が切れる。

∨ チャンネル ∧ ⏮ ⏭	スキップ	項目を飛び越す。 ● DVD-VR マーカーにもスキップします。
	早送り・早戻し（再生中）	押したままにすると、5 段階で速くなる。 [▶、電源 入] で通常再生に戻る。
	スロー再生（一時停止中）	押したままにすると、5 段階で速くなる。 [▶、電源 入] で通常再生に戻る。 ● VCD [▶▶|] のみ ● MPEG4 働きません。
トップメニュー	トップメニュー	DVD-A DVD-V
	再生ナビ	DVD-VR（☞25 ページ）
	再生コンテンツメニュー	WMA MP3 JPEG MPEG4（☞26 ページ）
メニュー	メニュー	DVD-V
	プレイリスト再生	DVD-VR（☞25 ページ）
	ナビメニュー	WMA MP3 JPEG MPEG4（☞26 ページ）
リターン	リターン	前の画面に戻る。 ● VCD（プレイバックコントロール付き）メニューに戻る。
△ ◁ 決定 ▷ ▽	メニュー操作	[▲▼◀▶] で選び、[決定] で決定する。
	コマ送り・コマ戻し（一時停止中）	DVD-VR DVD-V VCD [◀▶] でコマ送り・コマ戻し。 ● VCD [▶] のみ
	グループスキップ	WMA MP3 JPEG MPEG4 [▲▼] でグループを飛び越す。 ● 一時停止中には働きません。

リモコンで操作する（機能名が同じボタンは本体と同じはたらきをします。）

電源 ⏻	電源入／切	**● バッテリーパック使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。**
再生 ▶	再生	押すと、再生が始まる。
∨ チャンネル ∧ ⏮ ⏭	スキップ	項目を飛び越す。 ● DVD-VR マーカーにもスキップします。
◀◀ ▶▶	早送り・早戻し（再生中）	5 段階で速くなる。 [▶、再生] で通常再生に戻る。
	スロー再生（一時停止中）	5 段階で速くなる。 [▶、再生] で通常再生に戻る。 ● VCD [▶▶] のみ ● MPEG4 働きません。
1 2 3 4 5 6 ≧10 7 8 9 0	番号入力	DVD-VR DVD-A DVD-V VCD CD 例）12：[≧10] → [1] → [2] WMA MP3 JPEG MPEG4 例）123：[1] → [2] → [3] → [決定]

SD カードを再生する

大切なデータを保護するために、“カード読み込み中 ...”表示中や操作の途中にカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破壊されることがあります。

- 本機では、8 MB ～ 2 GB までの SD メモリーカードが使用できます（☞7 ページ）。
- 電源「入」状態で SD カードを入れると、自動的に再生が始まります。

1

❶ カバーを開ける

❷ カードを入れる

ラベル面

角がカットされた側を右に

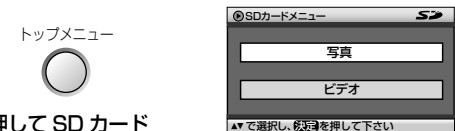
- miniSD™ カードは、必ず専用の miniSD™ カードアダプターに装着し、アダプターごと出し入れしてください。

❸ カバーを閉める

2 電源が入るまで押したままにする

自動的に再生が始まります。

- “写真”と“ビデオ”の両方のコンテンツが含まれているカードの場合、“写真”から順に再生されます。
- **SD VIDEO** 音量を調節してください。
- “SD”以外が表示されたときは、[AV セレクト] で“SD”を選んでください。

再生するコンテンツを変えるには

押して SD カードメニューを表示してください。

[▲▼] で“写真”または“ビデオ”を選び、[決定] を押すと、再生が始まります。

- 停止状態で約 15 分（バッテリーパック使用時は約 5 分）経過すると自動的に電源が切れます（オートパワーオフ）。
- 困ったときは、「故障かな！？」（☞42 ～ 44 ページ）をご覧ください。

カードを取り出すには

1 カバーを開ける

2 カード中央部を押してロックを解除する

3 まっすぐ引き出す

本体で操作する

ボタン	機能	説明
電源 ▶	電源入	押したままにすると電源が入り、自動的に再生が始まります。
❚❚	一時停止	[▶、電源 入] で通常再生に戻る。
■ –切	停止	“再生ボタンで続きから再生します。”表示中は、停止位置が記憶されています。 ● メッセージ表示中に [▶、電源 入] を押すと、停止位置から再生 (**レジューム再生**)。 ● メッセージ表示中に [■、–切] あるいは [AV セレクト] を押すか、カードを取り出すと、停止位置の記憶は解除。
	電源切	押したままにすると “OFF” が表示され、電源が切れる。
∨ チャンネル ∧ ⏮ ⏭	スキップ	項目を飛び越す。
	早送り・早戻し（再生中）	**SD VIDEO** 押したままにすると、5 段階で速くなる。 [▶、電源 入] で通常再生に戻る。
トップメニュー	SD カードメニュー	☞27 ページ、項目を順番に再生する（SD カードメニュー）
メニュー	ナビメニュー	☞27 ページ、項目を選んで再生する（ナビメニュー）
リターン	リターン	前の画面に戻る。
△ ▽ ◁ ▷ 決定	メニュー操作	[▲▼◀▶] で選び、[決定] で決定する。
	グループスキップ	**SD PICTURE** [▲▼] でグループを飛び越す。

リモコンで操作する（機能名が同じボタンは本体と同じはたらきをします。）

ボタン	機能	説明
電源 ⏻	電源入／切	**● バッテリーパック使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。**
再生 ▶	再生	押すと、再生が始まる。
∨ チャンネル ∧ ⏮ ⏭	スキップ	項目を飛び越す。
◀◀ ▶▶	早送り・早戻し（再生中）	**SD VIDEO** 5 段階で速くなる。 [▶、再生] で通常再生に戻る。
1 2 3 4 5 6 ≧10 7 8 9 0	番号入力	例）123：[1] → [2] → [3] → [決定]

便利な機能

液晶画面での 4:3 映像の表示方法を選ぶ

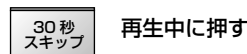
[▲▼] で項目を選び、[決定] を押す
NORMAL：ノーマル (4:3 映像で表示)
FULL：左右にのびる
OFF：映像なし

- 液晶画面を使わないときは節電のため、“OFF” にすることをおすすめします。([⏻] ランプが点滅)
- 液晶画面を閉じると自動的に “OFF” になります。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

液晶画面の画質を調整する

[▲▼] で項目を選び、[◀▶] で設定する
BRIGHT: 画面の明るさ (－５～５)
COLOUR: 色の濃さ (－５～５)
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

30 秒スキップ DVD-VR DVD-V +R/+RW には働きません

30 秒 スキップ　再生中に押す

- ディスクまたは再生箇所によっては、秒数が変わったり、機能が働かないことがあります。
- DVD-VR 静止画およびプレイリスト再生中は働きません。

リピート再生 経過時間が表示されるディスクのみ

JPEG SD PICTURE 経過時間が表示されなくても働きます

① [▲▼] で、“その他の設定” を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、“再生メニュー” を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、“リピート” を選ぶ
④ [▶]→[▲▼] で、項目を選んで [決定] を押す

例：DVD-V

- 解除するには、手順 ④ で “切” を選び、[決定] を押す。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

好きな場面を繰り返す (A-B リピート再生) 経過時間が表示されるディスクのみ

DVD-VR（静止画部分）JPEG SD PICTURE MPEG4 SD VIDEO には働きません

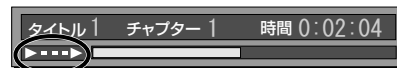
① [▲▼] で、“その他の設定” を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、“再生メニュー” を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、“A-B リピート” を選ぶ
④ 始点／終点で [決定] を押す

- 解除するには、手順 ④ でもう一度 [決定] を押す。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

見たいタイトル / プログラムを探す (アドバンストディスクレビュー)

DVD-VR DVD-V +R/+RW には働きません

各タイトル / プログラムの先頭を、数秒間ずつ順に再生していきます。

① [▲▼] で、“その他の設定” を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、“再生メニュー” を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、“アドバンストディスクレビュー” を選び、[決定] を押す。

上記画面が表示され、各タイトル / プログラムを順に再生

④ 再生したいタイトル / プログラムで [▶、電源入] を押す

- 各タイトル / プログラムを 10 分刻みで数秒ずつ再生するには、“アドバンストディスクレビュー” で “インターバルモード” を選択してください。(☞32 ページ、“ディスク”)
- 再生位置によっては、働かない場合があります。
- DVD-VR 静止画およびプレイリスト再生中は働きません。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生 DVD-VR DVD-V

① [▲▼] で、“その他の設定” を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、“再生速度” を選び、[決定] を押す
③ [▲▼] で、好みの速さを選ぶ
[× 0.6 ⟷ × 1.4（0.1 ずつ）]
④ [決定] を押す

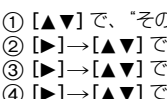
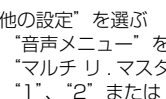
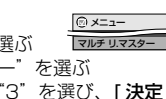
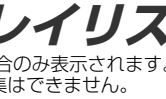
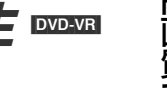
- [▶、電源 入] を押すと、通常再生に戻ります。
- 速度調節中は
  - アドバンストサラウンド（☞ 下記)、マルチ リ . マスター（☞24 ページ)、H.Bass（☞24 ページ）およびサウンドエンハンスメント（☞30 ページ）は働きません。
  - デジタル出力は、PCM になります。
  - サンプリング周波数（☞41 ページ）が 96 kHz の場合、48 kHz になります。
- ディスクの記録状態によっては、働かない場合があります。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

サラウンド効果を楽しむ（アドバンストサラウンド）2ch 以上の動画ディスクに働きます

2 本のスピーカー(またはヘッドホン)でサラウンド効果が得られます。
(本機のスピーカーでは効果を得られません。)

- サラウンド信号があるディスクの場合、横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。
- 接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。

① [▲▼] で、“その他の設定” を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、“音声メニュー” を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、“アドバンストサラウンド” を選ぶ
④ [▶]→[▲▼] で、“SP 1 標準” または “SP 2 強”（SP：スピーカー）を選び、[決定] を押す

効果的な視聴位置
テレビのスピーカーを使う場合
テレビの横幅＝距離 A

- **ヘッドホン使用時**は、**“HP 1 標準”** または **“HP 2 強”**（HP：ヘッドホン）を選んでください。
- H.Bass（☞24 ページ）“入” 時は、働きません。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

音声　動画ディスクに働きます

音声 (リモコン)

押して切り換える

- DVD-VR VCD "L"（左）、"R"（右）、"L R"（左右）のいずれかを選べます。
- DVD-V カラオケディスクでは、画面表示中に [◀▶] でボーカルの入／切ができます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

例：DVD-V

メニュー
音声　1

音声属性の表示

LPCM/PPCM/DD Digital/DTS/MPEG：信号タイプ
kHz：サンプリング周波数
bit：ビット数
ch：チャンネル数
GUI 画面では右記のように表示されます。

3 / 2 .1
- .1：LFE※あり（ない場合は、表示されません）
- 0：サラウンド信号なし
- 1：サラウンド信号（モノラル）あり
- 2：サラウンド信号（ステレオ）あり
- 1：センターのみ
- 2：フロント（L／R）のみ
- 3：センター＋フロント（L／R）

※Low Frequency Effects（ロー フリケンシー エフェクツ）の略。低域強調チャンネルのこと。

字幕　字幕が記録されたディスクに働きます

字幕 (リモコン)

DVD-V VCD
押して切り換える

- 字幕の入／切は [◀▶] を押す。
- ＋R/＋RW では、字幕が記録されていないディスクでも字幕番号が表示されることがあります。

例：DVD-V
メニュー
字幕　入

DVD-VR（字幕の入／切情報を含むディスク）
押して、入／切する

- 字幕の入 / 切のみ切り換えることができます。
- 当社製 DVD レコーダーは字幕の入／切情報を記録できません。

アングルの切り換え DVD-V アングルが複数記録されているディスクに働きます。
画像回転 JPEG SD PICTURE

アングル (リモコン)

再生中に押して切り換える

例：DVD-V
メニュー
アングル　1 / 4

再生状況を確認（クイック OSD）

[AV セレクト] で "DISC" または "SD" 選択時のみ表示

■ ディスクの再生状況を表示するには

画面表示　例：DVD-V

2 回押す

再生中の番号　現在の再生位置
タイトル 1　チャプター 1　時間 0:02:04
再生状態　経過時間

■ ディスクの詳細情報を表示するには

画面表示　例：DVD-V

3 回押す

再生中のタイトルの総再生時間

①音声（☞上記）
②字幕（☞上記）
③アングルの切換（☞上記）
④ディスクに記録された映像の縦横比

- MPEG4 早送り・早戻し中は、映像・音声情報は表示されません。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

再生の種類を切り換える（リモコンのみ）

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG MPEG4 SD PICTURE SD VIDEO

再生モード

停止中に
押して切り換える

オールグループ再生 (DVD-A) → プログラム再生 → ランダム再生 ← 通常再生

- HighMAT CD をプログラム／ランダム再生するときは、"その他のメニュー" で "データディスクとして再生" を選んでください。(☞31 ページ)。
- 通常再生に戻すには、停止中に [再生モード] を数回押してください。

すべてのグループを順に再生（オールグループ再生）DVD-A

再生 ▶

好みの順に再生（プログラム再生）　（最大 32 項目）

例）DVD-V

1

押して項目を選ぶ
（ディスク☞17 ページ、番号入力／SD カード☞19 ページ、番号入力）
続けて選ぶときは、この操作を繰り返してください。

2 再生 ▶

すべての項目を選ぶ
[決定] を押したあと、[▲▼] で "ALL" を選び、[決定] を押す

予約を変更／追加する
[▲▼] で変更したい項目を選び、手順 1 を行う

予約を取り消す
[▲▼] で取り消したい項目を選び、[取消し] を押す。
([▲▼◀▶] で "クリア" を選び、[決定] を押しても取り消されます。)

予約を全て取り消す
[▲▼◀▶] で "オールクリア" を選び、[決定] を押す

- 以下の場合も取り消されます。
  - 電源を切る
  - ふたを開ける（ディスク）
  - 取り出す（カード）
  - [AV セレクト] を押す

順不同に再生（ランダム再生）

例）DVD-V

1

DVD-A DVD-V WMA MP3 JPEG MPEG4 SD PICTURE SD VIDEO
押して項目を選ぶ
（ディスク☞17 ページ、番号入力／SD カード☞19 ページ、番号入力）

2 再生

より高音質・高画質で楽しむ

より自然な音質で聞く（マルチ リ.マスター）

- DVD-VR DVD-V （48 kHz で記録されたディスク）
  DVD-A （44.1 kHz または 48 kHz で記録されたディスク） VCD CD：
  ディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然で豊かな音質が楽しめます。
- WMA MP3 （8 kHz、16 kHz、32 kHz 以外で記録されたディスク）：
  圧縮時に失われた高い周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

1 画面表示 押す　2

① [▲▼] で、"その他の設定" を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、"音声メニュー" を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、"マルチ リ.マスター" を選ぶ
④ [▶]→[▲▼] で、"1"、"2" または "3" を選び、[決定] を押す

メニュー
マルチ リ.マスター　切
✓切 1 2 3

設定	DVD-A DVD-V CD (LPCM/PPCM)	その他のディスク
	音源に適した設定を選択	効果の強弱を選択
切	切	切
1	テンポの速い曲（ポップス・ロックなど）	弱
2	さまざまなテンポの曲（ジャズなど）	中
3	テンポの遅い曲（クラシックなど）	強

- H.Bass（☞ 下記）あるいはアドバンストサラウンド（☞21 ページ）動作時は働きません。
- 光デジタルケーブル接続時（☞34 ページ）、実際のサンプリング周波数は "PCM デジタル出力" の設定に合わせて変わります（☞33 ページ）。
- MP3 DVD-RAM および DVD-R/RW 内の MP3 には働きません。

重低音を楽しむ (H.Bass) DVD-V

1 画面表示

押す　2

① [▲▼] で、"その他の設定" を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、"音声メニュー" を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、"重低音 (H.Bass)" を選ぶ
④ [▶]→[▲▼] で、"入" または "切" を選び、[決定] を押す

メニュー
重低音(H.Bass)　切

- DVDビデオの 5.1ch ディスクに働きます。また、2ch ディスクにも一部効果が あるものがあります。
- 音声がひずんだり、雑音が聞こえる場合は "切" を選んでください。

映画向けの画質にする（シネマ 1/ シネマ 2）

シネマ 1：映画館で見ているようなしっとり感
シネマ 2：昔の映画などをくっきり

メニュー
ピクチャーモード　ノーマル
✓ノーマル シネマ1 シネマ2 ユーザー

1 画面表示 押す　2

① [▲▼] で、"その他の設定" を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、"画質メニュー" を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、"ピクチャーモード" を選ぶ
④ [▶]→[▲▼] で、**"シネマ 1"** または **"シネマ 2"** を選び、[決定] を押す

画面上のノイズを取り除く（デプスエンハンサー /MPEG DNR）

デプスエンハンサー：主に背景部分に現れるノイズを除去することで、奥行き感のある映像を楽しめます。
MPEG DNR：動画に見られるモザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に現れるもやのようなノイズを除去します。

1 ① 上記 "シネマ 1/ シネマ 2" 手順 2 —④で "ユーザー" を選び、[決定] を押す
② [▼] で、"詳細画質設定" を選び、[決定] を押す。

2 [▲▼] で、"デプスエンハンサー" または "MPEG DNR" を選び、[◀▶] で調整する
（デプスエンハンサー：0 ～ +4、MPEG DNR：0 ～ +3）

- 上記音声、画質調整はディスクの記録状態により、効果が得られないことがあります。
- 上記画面を消すには、[リターン] を 1 回もしくは数回押す。

ヘッドホンからの音声を重低音で楽しむ（ヘッドホン使用時のみ）

EQ 設定

押すたびに
XBS（迫力ある重低音）←→ NORMAL（解除）

- 音楽の種類により、効果は異なります。

プログラムやプレイリストの再生 DVD-VR

- タイトルはディスクに記録されている場合のみ表示されます。
- 本機では、タイトルやプレイリストの編集はできません。

プログラムを選んで再生（再生ナビ）

1 トップメニュー

押す

2 [▲▼] でプログラムを選び、[決定] を押す

- リモコンの数字ボタンでも選べます。（☞17 ページ、番号入力）。
- [▶] を押すと、番組内容およびディスク内容が表示されます。
- 画面を消すには [リターン] を押す

お好みのプレイリストを再生（プレイリスト再生）※プレイリストが作成されたディスクのみ

1 メニュー

押す

2 [▲▼] でプレイリストを選び、[決定] を押す

- リモコンの数字ボタンでも選べます。（☞17 ページ、番号入力）。
- 画面を消すには [リターン] を押す

HighMAT™ CDの再生 WMA MP3 JPEG

メニュー画面表示中
[▲▼◀▶] で内容を選び、[決定] を押す

メニュー：
このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。

プレイリスト：
再生が始まります。

- メニュー画面に戻るには、[トップメニュー] を押してから [リターン] を数回押す。
- ディスクに記録されたメニュー画面に切り換えるには、メニュー画面表示中に [画面表示] を押す。
- 画面の入／切は、[トップメニュー] を押す。

リスト画面から選んで再生する

1 メニュー 押す

2

① [◀]→[▲▼] でリストを切り換える
② [▶]→[▲▼] で選び、[決定] を押す

- 画面を消すには、[メニュー] を押す。

データディスクの再生 WMA MP3 JPEG MPEG4

以下の場合、“その他のメニュー” で “データディスクとして再生” を選んでください（☞31 ページ）。
–HighMAT 規格で記録されたディスクを HighMAT 機能を使わずに再生する
– DVD-VR と他のコンテンツ（JPEG など）が混在する DVD-RAM 内の JPEG や MP3 および MPEG4 を再生する

項目を順番に再生する（再生コンテンツメニュー）

メニュー画面表示中
[▲▼] で “オール”、“オーディオ”、“写真” または “ビデオ” を選び、[決定] を押す

- 画面の入 / 切は、[トップメニュー] を押す。

項目を選んで再生する（ナビメニュー）

1 メニュー

2 **[▲▼◀▶] でグループを選び、[決定] を押す**

3
- **グループ内のコンテンツを順番に再生するには [決定] を押す**
- **コンテンツを選んで再生するには [▲▼◀▶] でコンテンツを選び、[決定] を押す**

- **JPEG 画像を見ながら、WMA/MP3 を楽しむには、**JPEG コンテンツを選択した後、WMA/MP3 コンテンツを選ぶ。（逆の順序では、できません。）
- 画面を消すには、[メニュー] を押す。

サブメニューを使う（表示される項目はコンテンツによって異なります）

1 メニュー **ナビメニュー（☞ 上記）を表示させる**

2 画面表示 **サブメニュー（☞ 右図）を表示させる**

3 **[▲▼] で項目を選び、[決定] を押す**

タイトルを検索して再生

- ローマ字入力すると、その語句を含むタイトルを検索します。(大／小文字は区別されません)
- グループ名を検索するときはナビメニュー画面内のカーソルを “グループ” 側に、コンテンツ名を検索するときは “コンテンツ” 側に置いてください。

1 メニュー **ナビメニューを表示させる**

2 画面表示 **サブメニューを表示させる**

3
① [▲▼] で “検索” を選び、[決定] を押す
② [▲▼] で文字を選び、[決定] を押す
- 続けて入力するにはこの手順を繰り返す。
- [|◀◀ ▶▶|] を押したままにすると「A、E、I、O、U」にスキップします。
- 確定した文字を消すには [◀] を押す。
- 入力した文字で始まるタイトルを検索するには、[◀] で “*” を消してから手順 ② を行う。

③ [▶] で “検索” を選び、[決定] を押す
検索結果が画面に表示されます。
④ [▲▼] でグループまたはコンテンツを選び、[決定] を押す

メニュー画面を使った CD の再生 CD

1 メニュー 押す

例：CD テキスト

操作ガイドと再生状況表示を切り換えるには [画面表示] を押す。

2 **[▲▼] で曲を選び、[決定] を押す**
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

メニュー画面を使った SD カードの再生 SD PICTURE SD VIDEO

項目を順番に再生する (SD カードメニュー)

1 トップメニュー

2 **[▲▼] で “写真” または “ビデオ” を選び、[決定] を押す**
- “写真コンテンツがありません”、“ビデオコンテンツがありません” が表示されたときは、[トップメニュー] を押して SD カードメニューに戻って切り換えてください。

項目を選んで再生する（ナビメニュー）

1 メニュー

SD PICTURE

SD VIDEO

2 SD PICTURE [▲▼◀▶] で写真を選び、[決定] を押す

他グループの写真を再生するには
① [▲] で、“グループ” を選び、[決定] を押す
② [▲▼◀▶] でお好みのグループを選び、[決定] を押す
③ [▲▼◀▶] で写真を選び、[決定] を押す

SD VIDEO [▲▼◀▶] でコンテンツを選ぶ

- 他のページを見るには、[▲▼◀▶] で “前ページ” または “次ページ” を選び、[決定] を押す。
- 画面を消すには、[メニュー] を押す。

パソコン等でファイルを作るときは

ファイル形式	ディスク	拡張子	備考
WMA	CD-R/RW	".WMA" ".wma"	● 対応ビットレート：48 kbps ～ 320 kbps ● 著作権保護されたファイルは再生できません。 ● マルチプルビットレートには対応していません。
MP3	DVD-RAM DVD-R/RW CD-R/RW	".MP3" ".mp3"	● 対応ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps ● ID3 タグには対応していません。 ● 再生可能なサンプリング周波数 DVD-RAM/DVD-R/RW : 11.02、12、22.05、24、44.1、48 kHz CD-R/RW : 8、11.02、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
JPEG	DVD-RAM DVD-R/RW CD-R/RW	".JPG" ".jpg" ".JPEG" ".jpeg"	● デジタルカメラで記録された JPEG データ [DCF (Design rule for Camera File system) 規格 Ver.1.0 準拠] を表示します。 ーパソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。 ● MOTION JPEG などの動画や JPEG 以外の静止画（TIFF など）および音声付画像は再生できません。
MPEG4	DVD-RAM DVD-R/RW CD-R/RW	".ASF" ".asf"	● 当社製 SD マルチカメラで撮影及び当社製 DVD レコーダーで記録された MPEG4 データ[SD VIDEO 準拠(ASF 形式）／映像：MPEG4(Simple Profile) 準拠／音声：G.726 準拠] を再生することができます。 ● 再生時の日付表示が実際に記録した日付と異なる場合があります。

● 8 階層以降にあるグループは、メニュー画面の 8 階層目と同じ列に表示されます。
● 表示可能な漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外の漢字は"_"（アンダーバー）で表示されます。
● メニュー画面とパソコンの画面では表示順が異なることがあります。
● ディスクの作り方によっては、再生順が変わることがあります。
● パケットライト方式（☞41 ページ）で記録されたファイルは再生できません。

フォルダ名・ファイル名のつけかた

本機では、パソコン等で作成したフォルダ・ファイル名はそれぞれグループ名・コンテンツ名として表示されます。

名前のつけかた

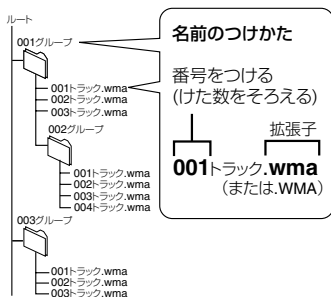
番号をつける
(けた数をそろえる)

拡張子

001トラック.wma
（または.WMA）

DVD-RAM
● 使用できるフォーマット :UDF2.00

DVD-R/RW
● 使用できるフォーマット :UDF1.02/ISO9660
● マルチセッションには対応していません。
デフォルトセッションのみ対応しています。

CD-R/RW
● 使用できるフォーマット :ISO9660 level 1 及び level 2（拡張フォーマットを除く）
● マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生開始まで時間がかかることがあります。

GUI 画面を使って操作する

1 画面表示

押す

2

①[▲▼] でメニューを選び、[▶] で次の項目に進む
②[▲▼] で内容を選び、設定する
必要であれば、この手順を繰り返す。

●表示される項目はディスク／カードによって異なります。
●前の項目に戻るには、[◀] を押す。
●設定が変わらない場合は [決定] を押す。
●リモコンの数字ボタン → [決定] で設定できる項目もあります。
●終了するには [リターン] を押す。

ディスク・SD カード（[AV セレクト] で"DISC"または"SD"選択時に表示）

メニュー

プログラム、グループ、タイトル、チャプター、トラック、プレイリスト、コンテンツ	項目を指定して再生 ● [▲▼]で選択後、[決定]を押す。 ● [▲▼]を押したままにすると速く変わります。
時間	時間を指定して飛びこす※（再生専用タイムワープ） 1. [決定] を2回押して、タイムワープインジケーターを表示させる 2. [▲▼]で時間を選び、[決定] を押す ●[▲▼]を押したままにすると速く変わります。 時間指定再生※（タイムサーチ） 例）1時間46分50秒から再生（リモコンで入力） [1] → [4] → [6] → [5] → [0] → [決定] 経過時間／残り時間表示切り換え
映像	画素数表示
音声	(☞22 ページ) ビットレート／サンプリング周波数
静止画	静止画の切り換え
サムネイル	サムネイル（画像の一覧）画面表示
字幕	(☞22 ページ)
マーカー(VR)	DVDレコーダーで付けたマークを呼び出す
アングル	(☞22 ページ、アングルの切り換え)
画像回転	(☞22 ページ、画像回転)
スライドショー	入 ⟷ 切 間隔を "1 速い"～"5 遅い" の間で変更できます。 ●再生位置によっては、スキップおよび画像の回転が正常に働かない場合があります。
その他の設定	(☞ 下記)

※+ R/ + RW には働きません

その他の設定

再生速度	(☞21 ページ、早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生)

GUI 画面を使って操作する（つづき）

再生メニュー

経過時間表示の出るディスク／カードのみ。
JPEG SD PICTURE リピートとマーカーはできます。

リピート	(☞20 ページ)
A-Bリピート	(☞20 ページ)
マーカー DVD-VRには働きません	**お好みの位置を記憶（5 個まで）** ［決定］を押してから下記の操作を行う。 **マークを付けるには** → 付けたい位置で［決定］を押す **他にマークを付けるには** → [◀▶] で“＊”を選び、［決定］を押す **マークを呼び出すには** → [◀▶] でマークを選び、［決定］を押す **マークを取り消すには** → [◀▶] でマークを選び、［取消し］（リモコン）を押す • 本機で付けたマーカーは、以下の場合に取り消されます。 – 電源を切る – ふたを開ける（ディスク） – 取り出す（カード） –［AV セレクト］を押す • プログラム、ランダム再生中は働きません。
アドバンストディスクレビュー	(☞21 ページ)

画質メニュー

ピクチャーモード	シネマ 1、シネマ 2（☞24 ページ、映画向けの画質にする） デプスエンハンサー、MPEG DNR（☞24 ページ、画面上のノイズを取り除く）

音声メニュー

重低音(H.Bass)	(☞24 ページ、重低音を楽しむ)
アドバンストサラウンド	(☞21 ページ、サラウンド効果を楽しむ)
シネマボイス	**映画のセリフを聞き取りやすくする** DVD-V（ドルビーデジタル、DTS、3チャンネル以上でセンターチャンネルにセリフが入っているディスク） 切 ←→ 入
マルチ　リ.マスター	(☞24 ページ、より自然な音質で聞く)
サウンドエンハンスメント	**アナログのまろやかな音質に近づける** DVD-VR DVD-V（48 kHzで記録されたディスク） DVD-A（44.1 kHzまたは48 kHzで記録されたディスク） VCD CD WMA MP3（8 kHz、16 kHz、32 kHz以外で記録されたディスク） 切 ←→ 入 • MP3 DVD-RAM および DVD-R/RW 内の MP3 には働きません。 • アドバンストサラウンド（☞21 ページ）、マルチ リ . マスター（☞24 ページ）および H.Bass（☞24 ページ）動作時は働きません。 • ディスクの記録状態により、効果が得られないことがあります。

表示メニュー

情報表示	切 ←→ 入 （JPEG SD PICTURE 日付／切）
字幕位置	0〜−60（2段階ずつ）
字幕明るさ	オート（明るさを自動調節する）、0〜−7

表示メニュー（つづき）

ぴったりズーム	**動画に働きます** いろいろな縦横比の画像を液晶画面またはテレビの画面サイズに近づける。 DVD-VR DVD-V VCD オート、4:3 標準、ヨーロピアンビスタ、16:9 標準、アメリカンビスタ、シネマスコープ 1、シネマスコープ 2 MPEG4 SD VIDEO スタンダード、オリジナル、フル
任意ズーム	**動画に働きます** [▲▼] でズーム倍率を調節する。（押したままにすると速く変わります。） DVD-VR DVD-V VCD MPEG4 SD VIDEO × 1.00 〜× 1.60（× 0.01 ずつ） × 1.60 〜× 2.00（× 0.02 ずつ） MPEG4 SD VIDEO のみ × 2.00 〜× 4.00（× 0.05 ずつ） • 接続するテレビや設定によっては 4.00 倍まで拡大できないことがあります。
ビットレート表示	**動画に働きます** 切 ←→ 入
GUIシースルー	**GUIメニューの背景を半透明にする** 切 ←→ 入 ←→ オート(映像が表示されると自動的に半透明にする)

その他のメニュー

初期設定	(☞32 ページ、初期設定を変える)
DVD-Video として再生 あるいは DVD-Audio として再生	DVD オーディオの中の DVD-V を再生するには、“DVD-Video として再生”を選ぶ
DVD-VR として再生 HighMAT として再生 あるいは データディスクとして再生	以下の場合、“データディスクとして再生”を選んでください。 – DVD-VR と他のコンテンツ（JPEG など）が混在する DVD-RAM 内の JPEG や MP3 および MPEG4 を再生する – HighMAT 規格で記録されたディスクを HighMAT 機能を使わずに再生する

デジタル放送（[AV セレクト] で TV モードに切り換え、[TV モード] で “DTV” 選択時に表示）

番組表	(☞15 ページ)
番組内容	(☞15 ページ)
チャンネルリスト	チャンネルリストを切り換える **ホーム ←→ おでかけ**
チャンネル設定	(☞13ページ)
音声	複数音声（音声 1/ 音声2）を切り換える（☞15 ページ） • 複数音声のない放送の場合、灰色で表示されます。
二重音声	二重音声（主 / 副 / 主＋副）の設定を切り換える（☞15 ページ） • 二重音声のない放送の場合、灰色で表示されます。
字幕	字幕の設定を切り換える ● **字幕の入 / 切**（☞15 ページ） ● **字幕言語** **字幕 1 ←→ 字幕 2** •字幕放送でない場合、または字幕を「切」に設定している場合、灰色で表示されます。
サービス	サービスを切り換える（複数サービスのある放送のみ） • 複数サービスのない放送の場合、灰色で表示されます。
初期設定	(☞33 ページ)

初期設定を変える

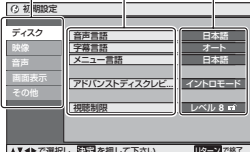
- 32 ～ 33 ページの表をご覧になり、必要に応じて変更してください。
- 日本語のようにアミのかかった項目は、お買い上げ時の設定です。
- 変更した設定は電源を切っても保持されます。

1
（リモコン）

2
（リモコンまたは本体）

[▲▼◀▶] で
メニュー・項目・
内容を選び、
[決定] を押す

メニュー　項目　内容

初期設定
ディスク　音声言語　日本語
映像　字幕言語　オート
音声　メニュー言語　日本語
画面表示　アドバンストディスクレビ…　イントロモード
その他　視聴制限　レベル 8
▲▼◀▶で選択し、決定を押して下さい　リターンで終了

- ひとつ前の画面に戻るには [リターン] を押す。
- 設定を終了するには [初期設定] を押す。
- GUI からこの画面を表示することもできます（☞31 ページ）。

ディスク・SD カード（[AV セレクト] で“DISC”または“SD”選択時に表示）

ディスク

項目	内容
音声言語	●日本語　●英語　●オリジナル（ディスクの最優先言語） ●その他＊＊＊＊※
字幕言語	●オート （“音声言語”で選んだ言語で再生されなかったとき、字幕でその言語を表示） ●日本語　●英語　●その他＊＊＊＊※
メニュー言語	●日本語　●英語　●その他＊＊＊＊※
アドバンストディスクレビュー 再生の間隔が選べます。 （☞21 ページ）	●イントロモード：各タイトル / プログラムの先頭を数秒ずつ表示 ●インターバルモード：各タイトル / プログラムを 10 分刻みで数秒ずつ表示
視聴制限 DVD ビデオの視聴が制限できます。	●レベル 8：すべて再生可 ●レベル 1 ～ 7：記録のレベルに応じて再生不可 ●レベル 0：すべて再生不可 レベルを設定すると、暗証番号入力画面が表示されます。画面の指示に従ってください。 **暗証番号は忘れないでください。** ●視聴制限を超える DVD ビデオを入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

※ リモコンの数字ボタンで言語番号（☞35 ページ）を入力します。

映像

項目	内容
TV アスペクト テレビサイズに合わせた映像の表示方法が選べます。	●4:3 パン&スキャン：標準サイズのテレビ 16:9 の映像は左右の切れた映像で表示 （パン&スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。） ●4:3 レターボックス：標準サイズのテレビ 16:9 の映像は上下に帯のある映像で表示 ●16:9：ワイドサイズのテレビ 必要に応じてテレビ側の画面モードの設定を変えてください。
スチルモード 一時停止時の画像の表示方法が選べます。	●オート ●フィールド：画像にブレが発生するとき ●フレーム：小さい文字や細かい絵柄が見えにくいとき

音声

項目	内容
PCM デジタル出力 （☞34 ページ、光デジタルケーブルでの接続時のみ） デジタル出力の入／切とサンプリング周波数の上限を設定	接続機器が対応しているサンプリング周波数に合わせて選んでください。 ●切：光デジタルケーブルで接続しないとき（アナログ出力の音質を高めます。） ●最高 48kHz：48 kHz または 44.1 kHz まで対応 ●最高 96kHz：96 kHz または 88.2 kHz まで対応 ●最高 192kHz：192 kHz または 176.4 kHz まで対応 ●ディスクが著作権保護されているときは 48 kHz または 44.1 kHz に変換します。 ●96 kHz に対応している接続機器でも、88.2 kHz に対応していないことがあります。（詳細は接続機器の説明書をご参照ください。）
Dolby Digital （☞34 ページ、光デジタルケーブルでの接続時のみ）	●Bitstream：右記ロゴのある機器と接続するとき ●PCM：右記ロゴのない機器と接続するとき DOLBY DIGITAL
DTS Digital Surround （☞34 ページ、光デジタルケーブルでの接続時のみ）	●Bitstream：右記ロゴのある機器と接続するとき ●PCM：右記ロゴのない機器と接続するとき
音声のダイナミックレンジ圧縮（ドルビーデジタルのみ） 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	●切　●入

画面表示

項目	内容
画面メニュー言語 初期設定画面、操作画面の言語を選びます。	●日本語　●English（英語）
画面メッセージ 画面メッセージを表示する、しないを選びます。	●入　●切
再生時の背景色 JPEG・MPEG4 再生時の背景色を選びます。	●ブラック　●グレー

その他

項目	内容
設定の初期化 本機をお買い上げ時の状態に戻します。	●する：視聴制限（☞32 ページ）を設定しているときは、暗証番号を入力して [決定] を押してください。“オールクリア”が表示されてから約 10 秒後に [決定] を押し、電源を入れ直してください。 ●しない

デジタル放送（[AV セレクト] で TV モードに切り換え、[TV モード] で“DTV”選択時に表示）

設定の初期化

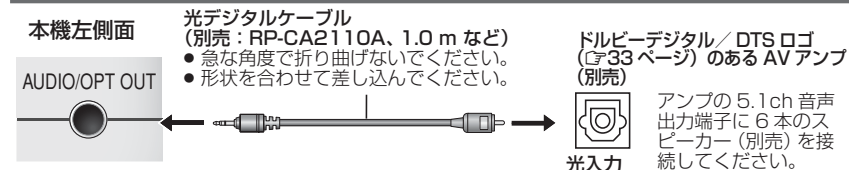
項目	内容
チャンネルリストの初期化 チャンネル未登録の状態に戻します。	●ホーム　●おでかけ　●ホーム／おでかけ
全設定値の初期化 すべての設定値をお買い上げ時の状態に戻します。	●する　●しない

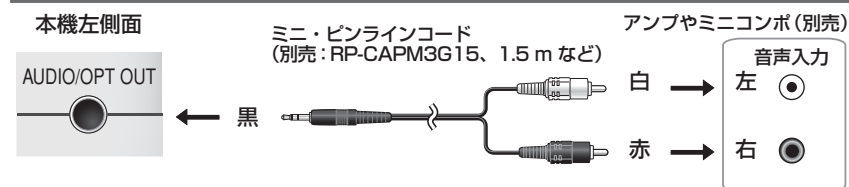
ID 表示

項目	内容
ライセンス表示 本機に使用されているソフトウェアに関する情報を表示します。	「ライセンス表示」を選んで[決定]を押す

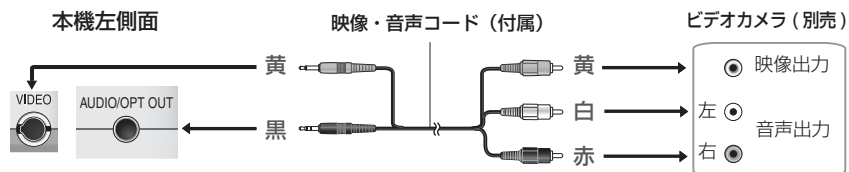
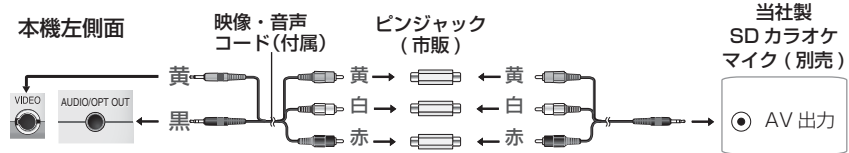
他の機器と接続して楽しむ

接続前に、全ての機器の電源を切り、それぞれの機器の説明書もよくお読みください。

5.1ch 音声で楽しむ（[AV セレクト] で“DISC”または“SD”選択時）

- 接続した機器に合わせて、“PCM デジタル出力”、“Dolby Digital”、“DTS Digital Surround”の設定を変更してください（☞33 ページ）。
- **DVD-A** 上記の接続をしても出力は 2 チャンネルになります。

2ch 音声で楽しむ（[AV セレクト] で“DISC”または“SD”選択時）

他の機器の映像や音声を再生する

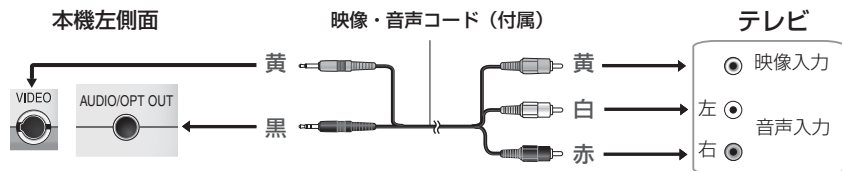
1 本機に機器を接続する

■ ビデオカメラの映像を本機で再生するには

■SD カラオケマイクの音声・映像を本機で再生するには

2 AV セレクト

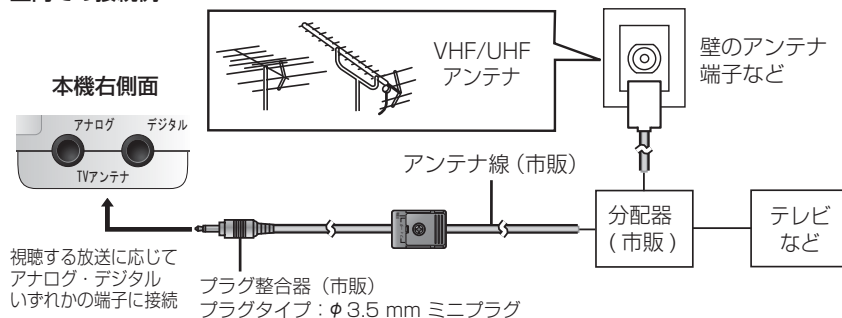
数回押して“AUX”を選ぶ

- 再生操作は接続する機器の側で行ってください。（接続する機器の説明書もよくお読みください。）
- オートパワーオフ（☞16 ページ）は働きません。続けて再生しないときは、電源を切ってください。

テレビやプロジェクターで映像を楽しむ

- 接続前にテレビの電源を切ってください。（テレビの説明書もよくお読みください。）
- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**

- 本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。また本機にキャッシュカードや定期券、時計などを近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で正しく働かなくなることがあります。
- 本機の再生時にテレビ側で音量を上げると、テレビ放送に切り換えたときに大きな音が出ることがあります。切り換える前にテレビの音量を元に戻してください。
- 本機で受信したテレビ放送は、接続したテレビでは楽しめません。

屋外アンテナと接続する

（[AV セレクト] で TV モードに切り換え、[TV モード] で“TV”または“DTV”選択時 ）

- 詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

言語番号一覧表

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	:7383	オーリヤ	:7982	シンハラ	:8373	トルコ	:8482	ベトナム	:8673
アイマラ	:6589	オランダ	:7876	ジャワ	:7487	トンガ	:8479	ベロルシア（白ロシア）	:6669
アイルランド	:7165	カザフ	:7575	スウェーデン	:8386	ドイツ	:6869	ベンガル（バングラ）	:6678
アゼルバイジャン	:6590	カシミール	:7583	スロバキア	:8375	ナウル	:7865	ペルシャ	:7065
アッサム	:6583	カタロニア	:6765	スロベニア	:8376	日本語	:7465	ポーランド	:8076
アファル	:6565	ガリチア	:7176	スワヒリ	:8387	ネパール	:7869	ポルトガル	:8084
アフリカーンス	:6570	韓国（朝鮮）語	:7579	スンダ	:8385	ノルウェー	:7879	マオリ	:7773
アブハジア	:6566	カンナダ	:7578	スペイン	:6983	ハウサ	:7265	マケドニア	:7775
アムハラ	:6577	カンボジア	:7577	ズールー	:9085	ハンガリー	:7285	マライ（マレー）	:7783
アラビア	:6582	キルギス	:7589	セルビア	:8382	バシキール	:6665	マラッタ	:7782
アルバニア	:8381	ギリシャ	:6976	セルボクロアチア	:8372	バスク	:6985	マラヤーラム	:7776
アルメニア	:7289	クルド	:7585	ソマリ	:8379	パシュト	:8083	マルタ	:7784
イタリア	:7384	クロアチア	:7282	タイ	:8472	パンジャブ	:8065	マダガスカル	:7771
イディッシュ	:7473	グアラニー	:7178	タタール	:8484	ヒンディー	:7273	モルダビア	:7779
インターリングア	:7365	グジャラト	:7185	タミル	:8465	ビハール	:6672	モンゴル	:7778
インドネシア	:7378	グリーンランド	:7576	タガログ	:8476	ビルマ	:7789	ヨルバ	:8979
ウェールズ	:6789	グルジア	:7565	タジク	:8471	フィジー	:7074	ラオ	:7679
ウォロフ	:8779	ケチュア	:8185	チェコ	:6783	フィンランド	:7073	ラテン	:7665
ヴォラピュック	:8679	ゲール（スコットランド）	:7168	中国語	:9072	フェロー	:7079	ラトビア（レット）	:7686
ウクライナ	:8575	コーサ	:8872	チベット	:6679	フランス	:7082	リトアニア	:7684
ウズベク	:8590	コルシカ	:6779	ティグリニア	:8473	フリジア	:7089	リンガラ	:7678
ウルドゥー	:8582	サモア	:8377	テルグ	:8469	ブータン	:6890	ルーマニア	:8279
英語	:6978	サンスクリット	:8365	デンマーク	:6865	ブルガリア	:6671	レトロマンス	:8277
エストニア	:6984	ショナ	:8378	トウイ	:8487	ブルターニュ	:6682	ロシア	:8285
エスペラント	:6979	シンド	:8368	トルクメン	:8475	ヘブライ	:7387		

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

バッテリーパックは誤った使い方をしない

- 本機以外の機器で充電しない
- 本機以外の機器に接続しない
- クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造したりしない
- 端子部（⊕と⊖）に金属物（針金など）を接触させない
- 金属物（ネックレス、ヘアピンなど）と一緒に持ち運んだり保管しない
- 火への投入、加熱をしない
- 火のそばや炎天下など高温の場所や、静電気の発生する場所で充電・使用・放置をしない
- 汚したり、水でぬらしたり異物を入れたりしない
  （バッテリーパックは防水構造ではありません）

- 長期間使用しないときは、取り外しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、発熱・発火・破裂の原因になります。
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ると、失明の恐れがあります。万一、このようなことが起こったら、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。

⚠ 警告

電源プラグ、カー DC アダプターの入力プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

異常があったときは電源プラグ、カー DC アダプターの入力プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。
- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使わないときは、電源プラグを抜いてください。

AC アダプター、カー DC アダプターは付属品を使う

指定外の製品を使用すると、火災の原因になります。

カー DC アダプターは DC12 V のマイナスアース車専用です

プラスアース車に使用すると、火災や故障の原因になります。

カー DC アダプターは運転の妨げにならないように取り付ける

接続したコードなどに引っかかり運転に支障をきたすと、交通事故やけがの原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

AC アダプター・カー DC アダプター・電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、電源プラグおよびカー DC アダプターの抜き差しはしない

感電の原因になります。

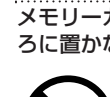
レーザー光を見つめない

視力障害の原因になります。

水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

歩行中や、乗り物を運転中に使用しない

交通事故の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

- 誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 警告

ボタン電池は誤った使い方をしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **乳幼児の手の届く所に置かない**
- **加熱、分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 長期間使わないときは、取り出しておいてください。
- 誤って飲み込むと、胃や腸が損傷します。すぐに医師にご相談ください。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

自動車内でのヘッドレストブラケットの取り扱いに注意する

- **車の走行中に取り付け、取り外ししない**
- **シートの後ろ以外には取り付けない**
- **運転者の視界を妨げる場所に取り付けない**
- **エアバッグの動作を妨げる場所に取り付けない**
- **運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に取り付けない**

交通事故、けがの原因となります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。

接触禁止

⚠ 注意

ヒューズを交換するときは、指定のものを使用する

火災の原因になりますので、指定外のヒューズは使用しないでください。

航空機内では FM トランスミッターを「切」にする

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医用電気機器のある場所では FM トランスミッターを「切」にする

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは FM トランスミッターを「切」にする

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

異常に温度が高くなるところや湿気、ほこりの多いところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところに長時間放置したり、ストーブの近くや浜辺など砂の多いところで使用しないでください。

ひざの上などで長時間使用しない

機器の底面が熱くなり、低温やけどの原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

⚠ 注意

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない

本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

ヘッドレストブラケットを使用するときは、ブラケットのベルトをしっかり固定し、本機がロックされていることを確認する

車の事故や急発進、急ブレーキにともない、本機がはずれてけがの原因となります。

著作権

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」および「DTS 2.0 + Digital Out」は DTS 社の商標です。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスを受けています。

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

本製品は MPEG-4 ビジュアル特許プールライセンスに関し、以下の行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を MPEG-4 ビジュアル規格に準拠して（「MPEG-4 ビデオ」）エンコードすること。
(ii) 個人使用として記録された MPEG-4 ビデオ及び／又は MPEG LA からライセンスを受けているプロバイダーから入手した MPEG-4 ビデオを再生すること。
詳細については http://www.mpegla.com をご参照下さい。

HighMAT™、HighMAT ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA(Windows Media™ Audio) とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

ーこのマークがある場合はー

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください

使用上のお願い

ディスクのお手入れについて

ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

ディスクに霧がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

再生面（光っている面）

○　×

内側から外側へ

ディスク・カードの取り扱いについて

ディスクやカードの破損や機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルを貼らない
  （ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります。）
- 鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- ディスクを落としたり、重ねたり、物をのせたり、衝撃を与えたりしない
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める
- 以下のディスクを使わない
  ーシールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク（レンタルディスクなど）
  ーそっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  ーハート形など、特殊な形のディスク
- 次のような場所に置かない
  ー直射日光の当たるところ
  ー湿気やほこりの多いところ
  ー暖房機具の熱が直接当たるところ
  ー静電気や電磁波が発生するところ

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

パソコンなどの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
カード内のデータは、お客様の責任において管理してください。

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。
- 液晶部のひどい汚れには、メガネクリーナーをおすすめします。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

きれいな音声、映像でお楽しみいただくために

- レンズは定期的にお手入れすることをおすすめします。
  推奨品：レンズクリーナーキット（品番：SZZP1038C）（お買い上げの販売店にご注文ください。松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。☞3 ページ）
- CD タイプのレンズクリーナーはご使用になれません。

充電式リチウムイオン電池について

使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

使用済み電池の届け先：
- お買い上げの販売店、または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ
- もしくは、（社）電池工業会へご確認ください。
  （ホームページ：http://www.baj.or.jp）

充電式リチウムイオン電池使用

Q&A（よくあるご質問）

質問	回答
5.1ch 音声を楽しむには、どのような機器が必要か	ドルビーデジタル／ DTS ロゴのある AV アンプ（5.1ch 音声出力端子付き）と接続します。**34 ページ** DVD-A 光デジタルケーブルで接続しても 2 チャンネル出力になり、5.1ch 音声では楽しめません。
海外でも使えるか	地域に合わせた変換プラグをご用意いただくと、海外旅行にもお持ちいただけます。 ただし本製品は日本国内向けに設計されているため、海外で常時使用はしないでください。また、本機の映像方式は NTSC ですので、PAL 方式のテレビとつなぐことはできません。 保証は国内のみ有効です。
海外で買った DVD ビデオを再生できるか	リージョン番号が「2」を含むか「ALL」で、映像方式が NTSC であれば、再生できます。 ディスクのジャケットをご確認ください。
飛行機内や病院で使えるか	本機が出す電磁波により、飛行機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。航空会社や病院の指示に従ってください。
パソコンと接続できるか	AV 入力端子付のパソコンと接続すると、テレビのようにパソコンのモニターでお楽しみいただけます。ただし、パソコンの周辺機器としてはお使いいただけません。
本機からデジタル信号のまま MD などに録音できるか	● デジタル信号（PCM）で録音できます。DVD の音声を録音する場合は、本機で以下の設定をしてください。 "PCM デジタル出力"　：“最高 48 kHz” **33 ページ** "Dolby Digital"　：“PCM” **33 ページ** "DTS Digital Surround"　：“PCM” **33 ページ** "アドバンストサラウンド"　：“切” **21 ページ** （ただしディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz に対応していることが必要です。） ● WMA、MP3 は録音できません。

用語解説

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定の時間間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。１秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダウンミックス

ディスクに収録されたマルチチャンネル（サラウンド）の音声を 2 チャンネルなどに混合することです。5.1 チャンネルの DVD をテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。
DVD オーディオには、ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、本機では正常に再生できません。

MPEG4

モバイル機器やネットワーク上での利用を目的に作られた圧縮方式で、低ビットレートでも高能率で記録できます。

パケットライト

データ記録方式の一つで、データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式です。音楽 CD をこの方法で作成することはできません。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

以下の現象が起こるときがありますが、異常ではありません。

- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 長時間使うと、本体表面が多少熱くなる。
- 充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる。

電 源

電源が入らない	● バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。**4 ページ** ● バッテリーパックでの使用中は、リモコンで電源を入れることができません。 ● 高／低温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。本機およびバッテリーパックは 5℃～ 35℃の間で使用してください。
勝手に電源が切れる	● 停止状態で放置すると AC アダプター使用時は約 15 分で、バッテリーパック使用時は約 5 分で電源が切れます。（**オートパワーオフ**）電源を入れ直してください。
充電できない（[CHG]ランプが点灯しない）	● 電源が入っていると充電できません。 ● 高／低温下では、通常よりも充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。 ● バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。**4 ページ**
充電しても再生時間が極端に短い	● バッテリーパックの寿命です。（充電回数：約 300 回が目安）
車のソケットに接続したカー DC アダプターが安定しない（またはソケットにはまらない）	安定しないときは、カー DC アダプターのスイッチを“W”に、ソケットにはまらないときは“N”に、それぞれ切り換えてください。**10 ページ**

操 作

各ボタン操作ができない	● 特定の操作を禁止しているディスクもあります。 ● 落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。本機の電源を一度、切／入してください。または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。
再生できない（またはすぐに停止する）	● 寒い所から急に暖かい所へ持ち込むと露つきが発生し、再生できない場合があります。1 ～ 2 時間放置してください。 ● 再生できるディスクかどうか確認してください。**6 ページ** ● ディスクが汚れていませんか？ **40 ページ** ● ディスクを正しくセットしてください。**16 ページ** ● 静止画を含む WMA、MPEG4 は再生できないことがあります。 ● ディスクに CD-DA（CD）と別のフォーマットが含まれている場合、正しく再生できないことがあります。 ● 記録済みのディスクが入っていますか？
リモコンで操作できない	● 電池の ⊕⊖ を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものと交換してください。**3 ページ** ● リモコン受信部に向けて操作してください。**3 ページ**
SD カードのコンテンツが読み込めない	● 本機で対応しているフォーマットではありません。あるいはカード内のコンテンツが破壊されている可能性があります。当社製 SD マルチカメラ、DVD レコーダー、または同様の機器を使用し、SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットしてください。**7 ページ** ● 本機で対応していないフォルダ名やファイル名、あるいは拡張子を含む SD カードです。
DVD-A 音声を切り換えると、トラックの先頭に戻る	● 静止画付または音声のみのトラックでは正常な動作です。

操 作

DVD-A GUI 画面に音声番号が“2”まで表示されるが、音声は変化しない	● 2 つ目の音声がなくても、通常は音声番号を 2 まで表示します。（再生中の音声は 1 のままです。）
曲が再生されるまでに時間がかかる	● 静止画データの入った MP3 ファイルでは時間がかかることがあります。また、再生後も時間が正確に表示されないことがあります。
プログラム／ランダム再生できない	● プログラム／ランダム再生できない DVD ビデオがあります。
スキップ・早送り／早戻し中にメニュー画面が表示される	● ビデオ CD では正常な動作です。
VCD（プレイバックコントロール付き）PBC メニュー画面が表示されない	●［■、一切］を 2 回押した後、［▶、電源 入］を押してください。
AB リピートの終点（B 点）が自動的に決定される	● 始点（A 点）のみを設定すると、タイトル／トラックなどの終わりが B 点となります。
字幕が出ない	● 字幕の入ったディスク、または字幕のあるデジタル放送のみ表示します。 ● 字幕を“入”にしてください。**22、15 ページ**
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた	● 以下の操作で、本機をお買い上げ時の状態に戻してください（デジタル放送は除く）。停止状態で､本体の［⏮］と［❚❚］を押しながら、［▶、電源 入］を 3 秒以上押す。（画面の“オールクリア”が消えたことを確認し、電源を切 / 入してください。）

映 像

液晶画面が暗い	● 明るさを調整してください。**20 ページ**
液晶画面の一部の画素が欠けたり常時点灯する	● カラー液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上が有効画素であるものを採用しておりますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではありません。
液晶画面に映像が映らない	● 接続を確認してください。**4 ページ** ● モニター設定が“OFF”（映像なし）になっていませんか？ **20 ページ**
映像が乱れる	● 早送り／早戻し時､多少乱れが出ることがありますが､故障ではありません。 ● MPEG4 SD VIDEO 再生時、映像にコマ落ちやモザイクがかかることがありますが、故障ではありません。 ● 本機でデジタル放送を受信する場合、画像が粗くなったり、映像の動きがなめらかでない場合がありますが、故障ではありません。
字幕の位置がおかしい	● 字幕位置の調節をしてください。**30 ページ** ※デジタル放送の字幕位置は調節できません。
メニュー画面が正しく表示されない	●“任意ズーム”の倍率を“×1.00”にしてください。**31 ページ** ● 字幕位置を“0”にしてください。**30 ページ**
テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	● 本機とテレビは直接接続してください。**35 ページ** ● 接続を確認してください。**35 ページ** ● テレビの電源は入っていますか？ ● テレビの入力切換は正しいですか？ ● テレビ側の画面モードを変更してください。 ●“TV アスペクト”は、正しく設定されていますか？ **32 ページ** ●“表示メニュー”の“ぴったりズーム”で調節してください。**31 ページ**
オートズーム（ぴったりズーム）が働かない	● テレビ側のズーム機能を解除してください。 ●“任意ズーム”で微調整してください。**31 ページ** ● 映像全体が暗かったり、ディスク／カードの種類によっては、働かないことがあります。

音声

本機のスピーカーから音が出ない	● FM トランスミッターを「切」にしてください。**11 ページ** ● 液晶画面を閉じていませんか？ ● ヘッドホンを抜いてください。 ● ボリュームを上げてください。**16 ページ**
雑音が聞こえる	● 本機と携帯電話を近づけて使っていませんか？ ● WMA や MPEG4 の再生中に雑音が生じることがあります。
音声が出ない(または音がおかしい)	● DVD-A ディスク側で音声の出力方法を制限されていませんか？マルチチャンネルのディスクには、ダウンミックスが禁止されているため、本機では正常に再生できないものがあります。ディスクのジャケットなどを確認してください。
FM トランスミッターが働かない メニューを表示しない	● ヘッドホン、映像・音声コード、アンテナコードまたは屋外アンテナを本機から抜いてください。 ● アナログ放送視聴中は使用できません。
外部スピーカーから音が出ない	● 接続、設定を確認してください。**34、33 ページ**
音声が途切れる	● 再生速度を切り換えるときに、音が途切れることがあります。
音声がひずむ	● アドバンストサラウンドを「切」にしてください。**21 ページ**
5.1ch 再生ができない	● 早見／早聞き・遅見／遅聞き再生中は 2 チャンネル出力になります。 ● DVD オーディオは 2 チャンネルで再生されます。
耳を刺激するような音が出る	● 光デジタルケーブルで接続しているときは、“Dolby Digital”や“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。**33 ページ**
音声効果が働かない	● アドバンストサラウンド、H.Bass、マルチ リ.マスター、サウンドエンハンスメントは、早見／早聞き・遅見／遅聞き再生中は働きません。 ● 音声効果が働かなかったり、出にくいディスクもあります。 ● 光デジタルケーブル接続時、音声効果は Bitstream 信号には働きません。**34、33 ページ**

ランプの点滅

[⏻] ランプがすばやく点滅	● 本体に異常が発生しました。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」に修理をご依頼ください。**46 ～ 47 ページ**
[⏻] ランプがゆっくり点滅	● 電源「入」状態で液晶画面が閉じている、またはモニター設定が“OFF”(映像なし)になっています。再生しないときは電源を切ってください。**20 ページ**
[CHG] ランプがすばやく点滅	● バッテリーパックに異常が発生しました。電源を入れて画面の表示をご確認ください。**下記**
[CHG] ランプがゆっくり点滅	● 電池残量が少なくなっています。（数分すると、電源が切れます。）

画面の表示

“⃠”	● ディスク／カードまたは本機で禁止されている操作です。
“Gxx Cxx は再生できません” “Gxx Cxx は保護されたコンテンツです”	● 本機で再生できないグループ／コンテンツです
“ディスクを確認してください” “U11”	● ディスクが汚れていませんか？。**40 ページ** ● ディスクはファイナライズされていますか？（DVD-RAM はファイナライズ不要です。）**6 ページ**
“選択できません”	● [■、ー切] を押してから、再度操作してください。
画面メッセージが出ない	● “画面メッセージ”を“入”にしてください。**33 ページ**
ERROR 01	● バッテリーパックに異常が発生しました。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」にご相談ください。**46 ～ 47 ページ**
ERROR 02	● 13 時間充電し続けましたが、何らかの理由で完全充電されていません。再度充電してください。
ERROR 03	● 暑いまたは寒い場所で充電しています。常温の場所で充電してください。
“H □□” (□□は数字)	● 異常が発生しました。（“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、切／入してください。または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。

処置をしても“H □□”が消えないときは

お買い上げの販売店または、お近くの「修理ご相談窓口」(47 ページ) に修理をご依頼ください。その場合、画面に表示される番号をお知らせください。

主な仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

再生可能ディスク（8cm、12cm）
(1) DVD（DVD ビデオ、DVD オーディオ）
(2) DVD-RAM（DVD-VR、JPEG※[1、2、3]、MP3※[2、6]、MPEG4※[2、4]）
(3) DVD-R（DVD ビデオ、DVD-VR、JPEG※[1、2、3]、MP3※[2、6]、MPEG4※[2、4]）
(4) DVD-R DL（DVD ビデオ、DVD-VR）
(5) DVD-RW（DVD ビデオ、DVD-VR、JPEG※[1、2、3]、MP3※[2、6]、MPEG4※[2、4]）
(6) +R/RW（ビデオ）
(7) +R DL（ビデオ）
(8) CD、CD-R/RW [CD-DA、ビデオ CD、SVCD※[5]、MP3※[2、6]、WMA※[2、7]、JPEG※[1、2、3]、MPEG4※[2、4]
HighMAT レベル 2（音声、静止画）]

SD 再生※[8、9、10]
画像再生： JPEG※[3、11、12]
映像再生： MPEG4※[4、12]

信号形式 NTSC

液晶ディスプレイ
9 型α－ Si TFT ワイド液晶モニター

コンポジット映像出力 / 入力
出力 / 入力レベル： 1 Vp-p（75 Ω）
出力 / 入力端子： φ 3.5 mm ミニジャック
端子数： 1 系統（入出力切換式）

音声出力 / 入力
出力 / 入力レベル：1.5 Vrms（1 kHz、0 dB、10 k Ω）
出力 / 入力端子：φ 3.5 mm ステレオミニジャック
端子数： ステレオ 1 系統（入出力切換式）

音声出力特性
周波数特性
● DVD（リニア音声）:
4 Hz ～ 22 kHz（48 kHz サンプリング）
4 Hz ～ 44 kHz（96 kHz サンプリング）
● DVD-Audio:
4 Hz ～ 88 kHz（192 kHz サンプリング）
● CD audio： 4 Hz ～ 20 kHz（JEITA）
S/N 比
● CD audio： 115 dB（JEITA）
ダイナミックレンジ
● DVD（リニア音声）: 98 dB
● CD audio： 97 dB（JEITA）
全高調波歪率
● CD audio： 0.008 %（JEITA）

デジタル音声出力
出力端子： ミニ光コネクター
端子数： 1 系統（音声出力 / 入力端子と兼用）

ヘッドホン出力
出力端子： φ 3.5 mm ステレオミニジャック
端子数： 2 系統

FM トランスミッター
送信周波数範囲： 76.3 MHz ～ 89.7 MHz
（デジタル・チューニング：0.1 MHz 毎）
出力方式： ステレオ／モノラル（切替可能）

テレビ受信チャンネル：
地上アナログ放送
VHF：1 ～ 12 ch UHF：13 ～ 62 ch
CATV：13 ～ 38 ch
地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス（ワンセグ）※
UHF： 13 ～ 62 ch
※データ放送、緊急警報放送の受信には対応していません。

電源 DC 12 V（DC IN 端子）/
DC 7.2 V（バッテリー端子）

消費電力（付属の専用 AC アダプター使用時）
13 W（本体 11 W）
電源「スタンバイ」時：約 0.3 W／充電時：16 W

内蔵バッテリーパック VUADBLX97（リチウムイオン）
電圧：7.2 V　容量：4500 mAh

外形寸法（幅×奥行×高さ）（突起物を含まず）
236.5mm × 179.2mm × 46.0※mm
※24.3mm（最薄部）
（奥行：185mm、高さ：51.5mm　バッテリー装着時）

質量 約 1154 g

許容周囲温度 ＋ 5 ～ 35 ℃
許容相対湿度 5 ～ 85% RH（結露なきこと）

AC アダプター
電源： 100 V ～ 240 V、50/60 Hz
消費電力： 41 ～ 55 VA
DC 出力： 12 V、1.5 A

カー DC アダプター
DC 出力： 12 V、2 A
12V 車専用

※[1] Exif Ver2.1 JPEG ベースライン方式準拠
画像解像度： 160×120 ～ 6144×4096
（サブサンプリング：4:0:0、4:2:0、4:2:2、4:4:4）
※[2] MP3/WMA/JPEG/MPEG4 を合わせた再生可能な最大コンテンツと最大グループの合計
再生可能な最大コンテンツ数
（トラック数と画像数）： 4000
再生可能な最大グループ数： 400
※[3] 極端に細長い画像は表示されない場合があります。
※[4] 当社製 SD マルチカメラあるいは DVD ビデオレコーダーで記録した MPEG4 データ［SD VIDEO 準拠（ASF 形式）／映像：MPEG4（Simple Profile）準拠／音声：G.726 準拠］
※[5] IEC62107 準拠
※[6] MPEG-1 Layer3、MPEG-2 Layer3
※[7] Windows Media Audio Ver9.0 L3.
Multiple Bit Rate (MBR) との互換性はありません。
※[8] 使用可能なメモリー容量：
8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2GB
※[9] 当社製 SD マルチカメラあるいは DVD ビデオレコーダーなどの SD File System 規格 Ver1.01 に準拠した機器でフォーマット（FAT12、FAT16 形式）された SD カードに対応
※[10] miniSD™ カードを含む（miniSD™ アダプターが必要）
※[11] SD Picture 規格準拠
画像解像度： 160×120 ～ 6144×4096
（サブサンプリング：4:0:0、4:2:0、4:2:2、4:4:4）
※[12] 再生可能な最大フォルダ数／最大ファイル数：
画像：398 ／ 4000
映像：398 ／ 4000

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた、お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、このポータブル DVD ／ CD プレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

42 ～ 44 ページの「故障かな！？」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  右記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	ポータブル DVD ／ CD プレーヤー	品番	DVD-LX97
お買い上げ日	年　月　日		
故障の状況	できるだけ具体的に		

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■ 携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

地区	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎ (0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東北地区

地区	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎ (017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎ (050)5519-6348
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎ (019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎ (023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎ (024)991-9308

首都圏地区

地区	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-0171

中部地区

地区	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎ (076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎ (076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎ (0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	☎ (054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎ (058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市野村町字山神421	☎ (059)255-1380

近畿地区

地区	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中国地区

地区	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎ (086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎ (083)973-2720

四国地区

地区	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎ (088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎ (088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎ (089)905-7544

九州地区

地区	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎ (0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地区	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
1005

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。